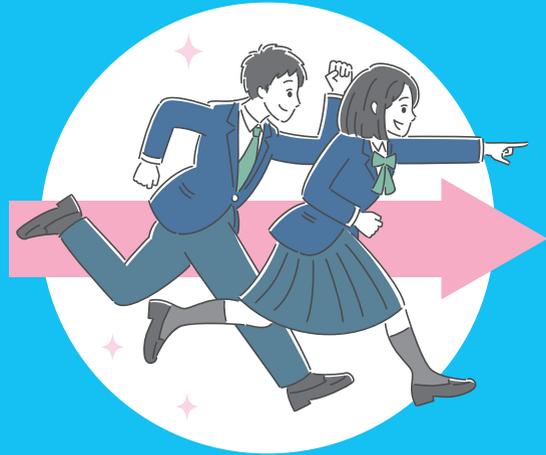


地域を支える仕事人の図鑑

VOL.4



★南区唯一の高校 白根高校の生徒が作った★

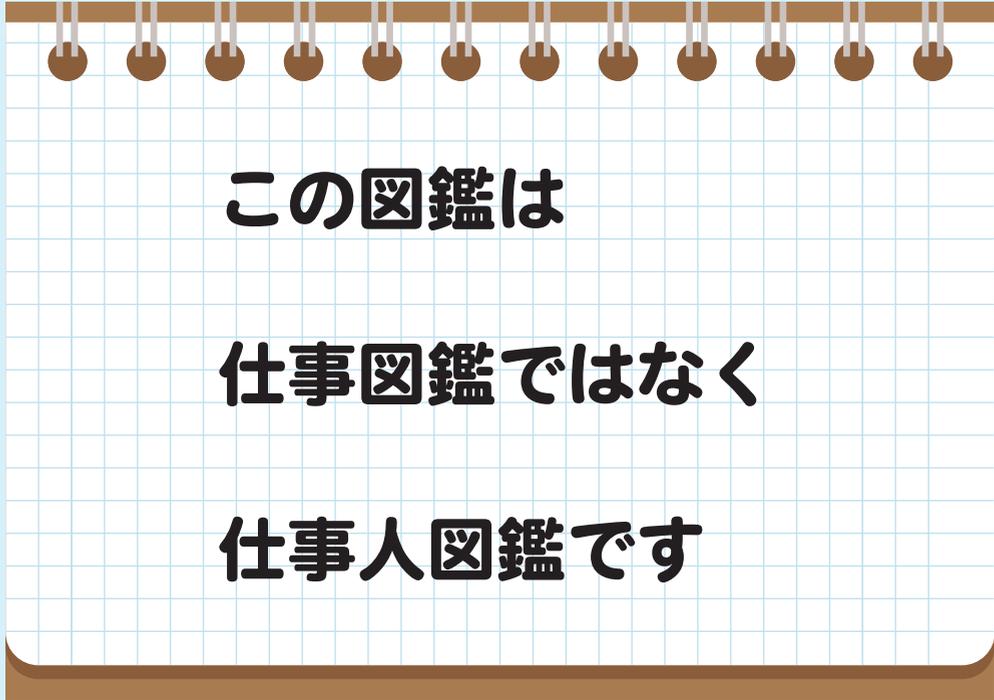
地域を支える

仕事人の図鑑

Vol.4

新潟県立白根高等学校 令和6年度 2学年





この図鑑は

仕事図鑑ではなく

仕事人図鑑です

単なる仕事を紹介する冊子はたくさんあります。

私たちは「仕事」を紹介するのではなく、

地域で活躍する「人材」を紹介したい。

そんな思いからスタートしました。

〈学校紹介〉

白根高校は令和4年に創立60周年を迎えた

新潟市南区にある唯一の高校です。

本校は、令和3年度より「南区」と、令和4年度より「にいがた南区創生会議」と「連携・協力に関する協定」を締結させていただき、地域と連携した総合的な探究の時間の授業づくりをはじめ、様々な地域貢献活動に力を入れている学校です。



POINT① ゲスト to ゲスト インタビュー

5月には12名のゲストを6組のペアに分け、大人が大人にインタビューする形式でゲストトークを行いました。夏に向けて、自分たちが挑戦するインタビューの具体像をイメージし、良い聞き手となるために必要な姿勢とはどのようなものなのかを学びました。活動をとおして、多くの大人の仕事に触れることができ、自分の将来を考えるきっかけとなりました。



生徒の感想

- それぞれの人生観や価値観が分かって良い時間でした。
- 今回来てくれた方々が質問し合っているのを見て、質問を深掘りすることで意外なことが知れることがわかりました。
- 実際に社会で働いている方々のお話を聞いて、今後の進路について考えるきっかけとなりとても有意義でした。

POINT② ペアでのインタビュー訪問

今年度はペアでの活動とし、インタビュー時の初対面の方との1対1の対話による負担感を軽減し、お互いに助け合える体制を整えました。マッチングの際は、「仕事人図鑑Vol.1」以来大切にしてきた「希望進路に基づくインタビュー先の選定」を重視し、個々の生徒の将来の

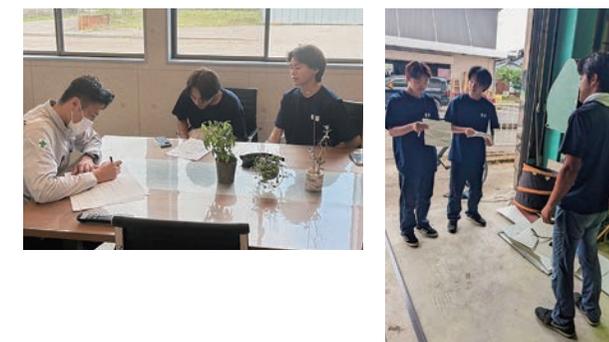


希望に合わせた訪問先を南区創生会議と連携して決定しました。ペアで2カ所を訪問することで、生徒の経験値が倍増し、より深い学びの体験となりました。



生徒の感想

- 1人ずつに役割があるからとてもスムーズにインタビューができました。
- ペアで活動したことで、話が楽しく盛り上がりやすく良かったです。
- どうしようか悩んでいたときに、友人に相談できて良かったです。



POINT③ AIの活用

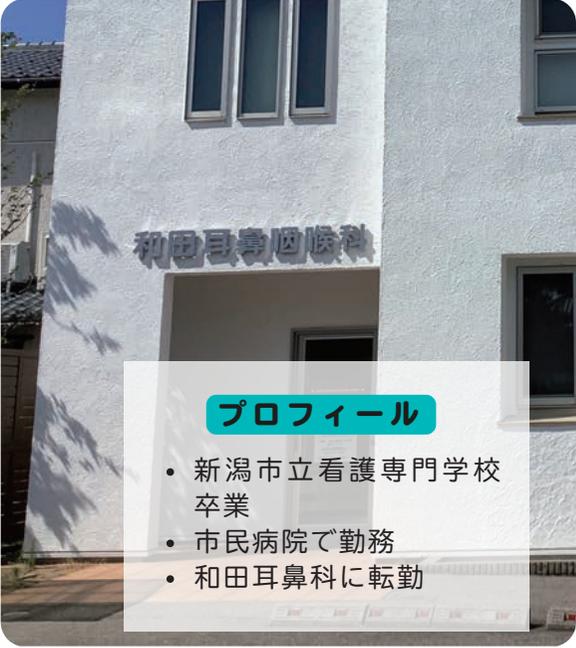
インタビュー本番では対話に集中するため、手書きのメモはほとんど取らず、音声を録音しました。その後、音声データをAIで文字起こしし、会話内容を正確に文章化しました。これにより、従来よりも深い内容を教員と共有でき、記事作りがより充実したものとなりました。

全体を通して仕事人の皆様からのコメント

- お二人とも真摯にインタビューいただきました。学びたいという姿勢が見られて、こちらとしても進んで回答したいと思いました。インタビュー後の雑談にもつきあっていただき、ありがとうございました(^^)
- こちらもあらためて仕事や会社について考える時間をいただきました。ありがとうございました。
- 希望の職種へのインタビューということで、意欲がありよかったですと思います。緊張していたと思いますが丁寧な言葉づかいで対応していただきました。ありがとうございました。

通し番号	お名前	会社名	ページ
1	青木幸恵さん	耳鼻咽喉科 和田医院	6
2	青柳勝人さん	あおやぎ塗装	8
3	東敏生さん	有限会社 大越食品	10
4	五十嵐祐太さん	フォート夢工房	12
5	和泉美春さん	おうちママサロン ラポール	14
6	岩崎一秀さん	岩崎金網工業 株式会社	16
7			
8	梅津繁明さん	日本料理浅乃橙	20
9	大内寿明さん	あり湯家	22
10	大野成夫さん	有限会社 大清紙商店	24
11	岡本巧さん	岡本自動車	26
12	海津崇央さん	有限会社 白根不動産	28
13	鹿島茜さん	まつ毛のお店 Omeme	30
14	川村朋生さん	川村農園	32
15	栗山悠さん	栗山板金	34
16	黒井健さん	土田石油株式会社 白根店	36
17	鎌間健策さん	有限会社 味方ふぁ〜む	38
18			
19	菰田祐次郎さん	株式会社 トライアイ	42
20	斎藤千紗さん	スナック優笑	44
21	清水雅己さん	有限会社 清水工務店	46

通し番号	お名前	会社名	ページ
22			
23	杉田育久恵さん	新潟市南区役所地域総務課	50
24	袖山吉宗さん	袖山商店	52
25	曾原圭菜子さん	BASE hair	54
26	曾原拓也さん	BASE hair	56
27	高橋寛成さん	ヘアサロンたかはし	58
28	高橋 さん	あおやぎ塗装	60
29	竹石誠人さん	高又板金工業 株式会社	62
30	竹内健さん	株式会社 竹内建材	64
31	田沢新吾さん	株式会社 光建	66
32	田伏将志さん	有限会社 コーワシーリング	68
33	堤 龍太郎さん	農事組合法人 8 番農場	70
34	坪井与志真さん	有限会社 ツボイフローリスト	72
35	富山喜幸さん	とみやま農園	74
36	林 唯香さん	新潟市社会福祉協議会老人デイサービスセンター味方	76
37	樋浦義久さん	ひうらでんき	78
38	平田翼さん	月湯企画	80
39	星野栄さん	株式会社 星野スポット	82
40	米山慶介さん	新潟第一観光バス 株式会社	84
41	渡邊崇さん	workshop ワタナベ	86
42			



プロフィール

- 新潟市立看護専門学校卒業
- 市民病院で勤務
- 和田耳鼻科に転勤

仕事についたきっかけ

小さい頃小児喘息で、入退院を繰り返していました。その時にすごく優しくて安心できる看護師さんがいて、その人が担当だととても安心できたので、その大好きな看護師さんになりたいと思って、看護師の道を選びました。

仕事のやりがいはココ！

患者さんにありがとうと言われて、患者さんの役に立つことができたなと実感できた時やりがいを感じます。困っていることがある患者さんに対して、先生の診察が終わってから、その患者さんに必要な情報を教えてあげている時に感謝される事が多いです。

仕事で心がけていることは？

患者さんの表情や言動などから困っていることやわからないことなどを察して、声をかけるようにしています。特に小さなお子さんには、不安にならないように声かけをして、安心して診察できるよう心がけています。



1日の流れ

05:30	起床・朝食
08:15	出勤、診察前の準備
09:00	午前の診察
12:15	休憩（昼食、買い物など）
14:30	午後の診察
19:00	帰宅
23:30	就寝

仕事を通じて学んだこと

ハウレンソウです。報告、連絡、相談の大事さは常に感じています。大事なことを報告しないと後でトラブルになることもあるのでスタッフの中でちゃんと報告、連絡、相談ができているとスムーズに進みます。何事も、ハウレンソウが大事です。



取材を終えて

最初は不安しかなかったけど、取材して行って緊張が解けた。取材を通して看護師の仕事は改めて大変だと思った。自分の興味のある職業で、看護師さん本人から聞かないとわからないことなどが聞いてよかった。この取材で教えてもらった話を今後の進路活動に活かしたい。

学生時代の経験で役立っていること

わからないことをそのままにせず、探求心を持って調べ続けることです。この姿勢が、現在の仕事においても役立っています。わからないことは自分で調べたり先生に聞いたりするようにしています。常に学び続けることで、自分をアップデートしていけます。



看護師として必要な能力は？

観察力と判断力です。患者さんのちょっとした変化にも気づき、迅速に対応できるようにするためには、しっかりと観察することが必要です。観察して変化を見逃さず、優先順位を考えて行動し、適切な対応をするために判断力は必要不可欠です。

中高生に伝えたいこと

皆さん人生これからで何にでもなれるので、自分のやりたいことに向かって諦めずに突き進んで行ってほしいです。



主な仕事内容

主に、一般住宅の外壁、屋根塗装や公共施設などの大型物件を施工しています。鋳物製品の塗装工場を新設しまして、建物に使う鉄骨なども請け負います。鉄製品を長く使えるように砂で錆を落とすサンドブラストも始めました。塗装の事なら何でもしています。

仕事についたきっかけ

高校1年生の頃、バイクが欲しくて、そのためのお金を稼ぐ必要がありました。当時、父親の知り合いが塗装業を営んでおり、夏休みにその仕事を手伝ったのがきっかけです。それから約20年、この仕事を続けてきました。

この仕事に必要な能力

体力と真面目さです。技術は後からついてくるので、しっかり学んでいけば大丈夫です。また、建設業は安定していて、仕事なくなることはありません。自分で独立して商売を始めることも可能です。

職場の雰囲気

みんな自由にやっています。朝礼などは特に設けず、各自が自分のペースで現場に向かいます。有給休暇も自由に取れるので、リラックスしたアットホームな雰囲気ですね。

職場見学について

建築塗装を体験してもらいます。学校の生徒たちが来て、実際に塗装を体験します。公共施設や学校の工事にも参加させてもらい、実際に現場を見ながら学べる機会を提供しています。

仕事のやりがいや喜び

やはりお客様から「ありがとう」と感謝される瞬間ですね。自分たちが手掛けた建物が何年も残り続けるという達成感も大きいです。



取材を終えて

仕事の雰囲気がとても良く、このような環境で自分も働きたいと感じました。「一回の選択で仕事を決めず、やりたい事に挑戦していくことが大切だ」というお話がとても印象に残りました。



仕事を通じて学んだこと

人間関係の大切さですね。大きな現場では多くの人と関わるので、協力し合って仕事を進めることが必要です。現場での経験を通じて、人との関わり方を学んできました。

中高生に伝えたいこと

1回の選択で仕事を決めず、やりたいことに挑戦してほしいです。青春時代を悔いなく過ごし、その後しっかりと働くことが大切だと思います。



プロフィール

- ・ 常務取締役
- ・ 創業50年

仕事についたきっかけ

家族経営の会社で、結婚した妻の家業を引き継ぐ形で転職しました。後継者がいなかったため、この仕事を選ぶことになりました。

人生の転機は？

この会社に入ったことが、私にとっての人生の転機です。家族経営の中で新たな挑戦をし、成長する機会を得たことが大きな転機となりました。

仕事のやりがいはココ！

自社の商品が高く評価される時ですね。焼き鳥というシンプルな製品でも、品質の高さを認められると非常に嬉しいです。形やサイズが均一であることが、他社との差別化となり、評価を得ていることに満足しています。

必須アイテムはコレ！

現在使用している「串」が重要です。焼き鳥の品質を保つためには、適切な串が不可欠です。種類や長さも多様で、用途に応じて使い分けています。



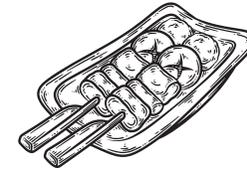
1日の流れ

- 05:00 起床
- 06:00 梱包作業（客の対応）
事務作業、
仕事の段取り、打ち合わせ
- 09:00 昼食 基本休みなし
（朝）
- 17:00 帰宅



地域との関わりや働く良さについて教えてください。

地域のお祭りなどで焼き鳥を提供することで、地域との関わりを感じています。お客さんから直接フィードバックを受けることができるのは、やりがいにつながります。



取材を終えて

今回の取材をさせていただいて焼き鳥のことから経営で大切なことまで教えていただきました。今まで経験してきたことやどんなことを考えてきたかを丁寧に話していただき勉強になりました。そして皆さんの焼き鳥を作る様子がプロ級でとても凄かったです。

仕事を通じて学んだこと

仕事を通じて多くのことを学びました。元々はサラリーマンとして指示されたことをこなすだけでしたが、今は自分で全てを考えながら仕事を進めることが求められます。人脈も広がり、様々な経験ができました。

中高生に伝えたいこと

後悔しないように、自分のやりたいことに全力で取り組むことが大切です。迷ったら、思い切ってやってみることが人生の選択肢を広げると思います。



仕事についたきっかけ

やはり親の影響が大きいですね。父が他の写真屋で経験を積んだ後に独立して自分の写真館を開業しました。その流れで、私が二代目として継いだという形です。

仕事のやりがいはココ！

その人の人生に携われることですね。卒業アルバムや結婚式の写真を撮るなど、人生の節目に関わることができる。それが一番の喜びです。また、その成長を記録できるというのも、この仕事の醍醐味です。

必須アイテムはコレ！

正直、特に自慢できるものはないですね。カメラにこだわりはあまりないので、どんな機材でもしっかり仕事ができるように心掛けています。



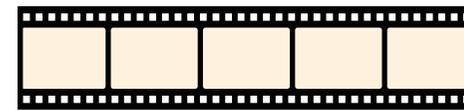
1日の流れ

07:00 起床・朝食の準備

09:00 仕事開始

19:00 退勤

23:00 就寝



仕事を通じて学んだこと

人を撮ることの難しさです。その人のプライベートな空間に入り込むことになるので、どこまで踏み込むべきか、その加減が難しいです。特にデリケートな場面では、慎重に対応する必要があります。



取材を終えて

この取材を終えて、コミュニケーションをとり人との繋がりを大切にすることが重要だという話を聞けてためになりました。また、自分のしたいことをするにはやっぱり勉強が必要で、勉強をすると選べる選択肢が増えて良いことが多いということがわかりました。



この仕事をする上で大切な能力は

人とのコミュニケーション能力が最も重要です。写真館は、人を相手にする商売なので、対人能力が求められます。また、カメラマンとしての視点を持つこと、多角的な物の見方ができる能力も必要です。いろんな角度から物事を見ることが大事ですね。

人生の転機は

転機はいくつかありますが、一番大きかったのは、かつて働いていたスタジオが閉鎖されると聞いた時ですね。それがきっかけで今の店を開くことになりましたが、当時はかなり迷いました。その選択が今の自分を作っていると思います。

中高生に伝えたいこと

勉強をしっかりと、自分の可能性を広げることが大切です。やりたいことが見つかるまで、自分を信じて努力し続けてほしいです。自分もそうですが、人生の選択肢を広げるために、今できることを精一杯やるのが将来に繋がると思います。

いずみ みはる
和泉 美春さん おうちママサロン ラポール



プロフィール

- ・新潟市中央区出身
- ・2児の母
- ・経験年数 9年目
- ・趣味 カフェめぐり

仕事についたきっかけ

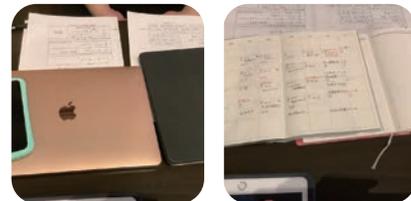
子育ての最初の頃はとても大変でした。初めてのことで分からないことだらけで、孤独感もありました。しかし、同じような境遇のママたちと集まる機会があり、その時間が心の支えになりました。その経験から、ママたちが集まれる場所を作りたいと思ったのがきっかけです。さらに、もっと子育てを楽しめる社会を作りたいと考えたことも、今の仕事に繋がっています。

良かったと思う瞬間

お母さんたちやお子さんが楽しんでいる姿を見る瞬間が、私にとって一番嬉しいです。ママたちから「楽しかった」というメッセージをいただくと、本当にやりがいを感じます。また、サロンの中が笑い声で溢れているときは、心から良かったと思う瞬間です。そんな幸せな時間を作るお手伝いができていることが、私の仕事の喜びです。

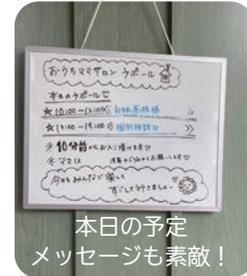
必須アイテムはコレ！

手帳は非常に大事な必須アイテムです。私は無印良品のカレンダー形式の手帳を使用しており、スケジュールの管理やタスクの整理に役立っています。子育てやサロンの活動が多忙な中、手帳でしっかりと計画を立てることで、効率的に仕事を進めることができます。また、パソコン、iPad、スマホの連携も重要です。これらのツールを使って、どこでも仕事ができるようにしています。例えば、外出先でもスケジュールを確認したり、メールやメッセージのやり取りができるため、柔軟に対応することが可能です。これらのデジタルツールと手帳を上手に活用することで、サロンの運営や子育てをスムーズに進めることができます。



1日の流れ

06:00	起床・朝ごはん・家事
08:00	掃除など サロン準備
17:30	息子の送迎・買い物
18:00	夕食を作ります
20:00	息子の迎え・夕ご飯・お風呂・家事など
22:00	事務作業・自由時間・就寝
24:00	



仕事を通じて学んだこと

仕事を通じて学んだ一番大切なことは、現在の状況に感謝する気持ちを持つことです。自分一人の力だけで成し遂げられるものではなく、周りの人たちの支えがあってこそ、仕事が成り立っていることを強く実感しています。家族や仲間、取引先のお客様など、多くの方々が助けてくれているからこそ今の自分があります。だからこそ、常に感謝の気持ちを忘れずに、周りの人々との信頼関係を大切にしながら仕事に取り組んでいくことの重要性を学びました。

この仕事をする上で大切な能力

一番大事なのは相手を思いやる気持ちです。子育て中のママたちは余裕がないことも多いので、その気持ちに寄り添うことが重要です。また、自分の好きなことや得意なことでも人の役に立ちたいという気持ちも大切です。

取材を終えて

最初はとても緊張していましたが、和泉さんがとても明るくて話しやすい方だったので、リラックスしてお話を聞くことができました。和泉さんが中高生に伝えたいメッセージとして「とにかくチャレンジすること」を強調されていましたが、その言葉に私は大きな感銘を受けました。これまで私は失敗を恐れてチャレンジしないことが多かったのですが、和泉さんが「人は失敗から成長する」と話されていて心に響きました。これからは和泉さんの言葉を大切に、やりたいことや目標を紙に書き出し、たくさんチャレンジしてみたいと思います。ありがとうございました。

人生の転機は？

私の人生の最大の転機は、初めての子育ての経験です。子どもが生まれたことで、それまでの自分が想像していなかった多くのことを経験し、考え方も大きく変わりました。子どもがいなければ得られなかった視点や気づきがたくさんあり、人生において大きな学びの時間でした。また、子育てを通じて、主人との出会いや、私を支えてくれる多くの仲間たちとのご縁にも感謝しています。

中高生に伝えたいこと

中高生の皆さんには、まず何よりも多くのことにチャレンジしてほしいです。失敗を恐れず、失敗から学ぶことが大きな成長につながります。しかし、それこそが学びのチャンスです。挑戦を続けていくことで、視野が広がり、新しい発見や可能性が見えてくるはずですよ。どんな小さなことでもいいので、まずは興味を持ったことにどんどん挑戦して、多くの経験を積んでみてください。



仕事についたきっかけ

私がまだ小さい頃に父が独立して、新潟の関屋で始めました。その後、白根に移って現在の場所で会社を続けています。私自身は32歳の時にサラリーマンを辞めて、この仕事を手伝うことになりました。自分で始めた仕事ではなく父の後を継いだ形です。

仕事のやりがいはココ！

継続してやる力が付くこと、お客様に喜んでもらえることです。

良かったと思う瞬間は？

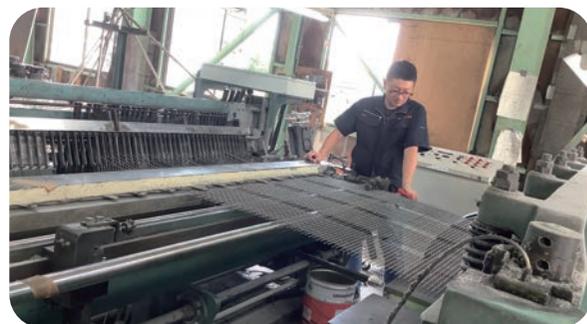
元々はサラリーマンをしていましたが、製造業が自分に合っていると感じています。物作りの方が、デスクワークよりも自分には向いているのかなと思っています。

大切な能力は？

真面目に取り組むことですね。派手な仕事ではなく、地味で毎日同じような作業が続くこともあります。そういった中で飽きずに続ける力が重要だと思います。

必須アイテムはコレ！

やはり機械が大事です。会社の中で使う機械がメインとなるので、それがないと仕事になりません。機械がこの仕事の要です。



1日の流れ

07:30 会社

08:15 仕事開始

12:00 昼食

13:00 金網製造

18:30 事務仕事

19:00 帰宅



仕事を通じて学んだこと

お客様のことを考えて仕事をすることの重要性を学びました。お客様に喜んでもらえるよう、しっかりとしたものを作るということです。忙しくなるとつい手を抜いてしまいがちですが、そうするとクレームが来ることもあります。忙しい時こそ立ち止まって、ゆっくりでもいいから丁寧に仕事をするのが大切だと感じています。



人生の転機は？

一つ目の転機は大学時代です。新潟南高校に通っていた頃はバスで通学していましたが、大学進学で初めて親元を離れ、千葉で一人暮らしを始めました。家事やアルバイトをしながら自立して生活する経験は大きな転機でした。もう一つは、今年の4月に母が病気で仕事を引退したことです。それ以来、すべてを自分でやるようになり、今年が大きな転機と感じています。

中高生に伝えたいこと

やりたい事があるならやっておくべきです！何事にも挑戦してみる事が大事です！

取材を終えて

製造業をしている方々はお客様に喜んでもらうために毎日汗を流し、頑張っていることがわかりました。僕は将来製造業に就くか分からないけど、もし就いたら岩崎さんに言われた事を意識して仕事してみたいと思いました。



仕事についたきっかけ

きっかけはやはり家業が飲食業だったことです。家業を継ぐことも一因です。また、本当は学校の先生や他の人にもものを教える仕事をしたいと思っていたのですが、家の事情もあり、料理で人を喜ばせることができると思い、この仕事を選びました。

仕事のやりがいはココ！

誰かに喜んでもらえたときですね。特に今日のお客さんのように、一度来店してくれた方が再び訪れてくれると嬉しいです。うちは安くない店ですが、そんな中で料理に8000円を払ってくれるお客さんがいると、本当に嬉しい瞬間です。

必須アイテムはコレ！

パソコンですね。過去のお客さんが何を食べたかを管理するのに使います。また、うちはファミリーレストランとは違い、良い材料を使えることが自慢です。例えば、お肉を使った料理は自信を持って提供できるポイントです。



プロフィール

- 白根高校卒業
- 日本料理店で修行後浅乃橙就職
- 趣味 食べること、スノーボード、旅行、ドライブ など

1日の流れ

07:00 起床・朝食の準備

09:00 仕入れ準備・仕事

20:00 仕事終わり

22:00 退勤

23:00 就寝



中高生に伝えたいこと

世の中がどんどん厳しくなっている中で、基礎知識や教養が重要になっています。特にテクノロジーの発展により、単純労働が減りつつあるため、しっかりとした知識がないと生き残れなくなる可能性が高いです。今はピンと来ないかもしれませんが、勉強することの重要性を理解してほしいです。



人生の転機は？

高校に入学できたことが大きな転機でした。良い先生に出会い、勉強するようになったことが現在の自分につながっています。また、専門学校を卒業してすぐに就職できたことや、タイミングよく良い職場に巡り会えたことも人生の大きな転機でした。

仕事を通じて学んだこと

日々学んでいることが多いですが、特に経営の勉強や従業員に物を教えることなど、料理だけでなく人を育てることも学びました。

取材を終えて

いろいろな話を聞いてとても参考になりました。調理師としての仕事で、衛生面を大切にするのはもちろん、お客さんがどうやったら笑顔になるかを考えることが大切というお話を聞いてよかったです。また、コロナ禍の中で売り上げが減ってもいろいろ考えて自分なりに工夫をしているところがすごいなと思いました。



プロフィール

- 6月上旬移転
- 趣味は犬の散歩

仕事についたきっかけ

調理の経験を30年ほどやっていました。前職は、病院でアレルギー対応・離乳食・術後の食事管理等入院患者に食事を提供していました。病院で食事を作っているうちに、自分でお店を開いてたくさんの人に提供し喜んでもらいたいという思いが積み重なり、いざ挑戦してみよう、やるからには老若男女すべての人に喜んでもらえる店にしようと思い立ち、このお店をオープンしました。

心に残っていること

前職で調理経験をしていて、病気であまり食事をとれない方が、私が作った創作料理だけは食べられたこと、その方から「おいしかった!」とお手紙をいただいたことが一番心に残っています。

必須アイテムはコレ!

○自分で作ったひょうたんランプ
お店の雰囲気に合わせて、自分で作ってみました。食事を楽しんでもらうための必須アイテムになったらいいなと思っています。手作りの温かみを感じてもらいたいです。

○ペットといっしょに食べられるスペース(2F)
大切な家族の一員であるペット連れで食事ができる所は自慢です。



1日の流れ

06:00	起床・朝食の準備
7:00	犬の散歩&日替わりメニュー考え
9:00	仕込み作業
14:00 17:00	夜の部の仕込み
19:30	閉店
23:00	就寝



仕事を通じて学んだこと

学んだことは「感謝」です。私たちは茨城から来たのですが、新潟に来て4, 5年しかたっていないけれどお客様の笑顔や会話に元気づけられることが多いと感じています。いろいろ助けてもらえることに、改めて「感謝」を感じています。



人生の転機は?

息子が新潟で一人暮らしをしていて食生活面で心配だったことと、私が退職しようかどうか考えていたタイミングが重なり、今しかないかなと思いきや息子を追って新潟に来ました。それが最終的な転機になりました。新潟に来て、自分の好きなことをやってみようかなと思いきや、前にやっていたスキルを活かせることもあって、この飲食店経営をしようと思いました。

中高生に伝えたいこと

私には今年受験の中学生の子供もいます。私の時代は古き良き時代で色々やっただけで、それでも、担任の先生も好きだし、高校も中学も好きでした。なので、まずは1度しかない学校生活を楽しんでもらいたいです。

取材を終えて

私は今飲食店でアルバイトをしているので、共通点のある飲食店で取材してみたいと思い取材させていただきました。個人で経営しているところではやはりやるのが違うとわかり、改めて飲食店経営の難しさを知ることができてとてもいい体験になりました。



プロフィール

代表取締役、行政書士
経験年数 13年目

仕事についたきっかけ

会社は、私の祖父が創業しました。法人設立をして50年目となります。多くのお客様のおかげで会社が成り立っています。お客様がいてくださったからこそ、私は、学び、成長をすることができました。会社を引き継ぐことで学びや成長に対する感謝の気持ちを表したい、これからは事業でお客様へ恩返しをしたいという気持ちが原点です。これから先も初心を忘れず事業に向き合っていきます。

特に印象に残っている出来事は

会社を経営しているとうまくいかないときがあります。窮地に立たされることもあります。そうしたときに価値観を共有したお客様やお取引様にお支えいただいた経験は、何にも代えがたい私の宝です。このような経験に甘えることなく、自らを律して、今度は同じ境遇の仲間がいたら手を差し伸べられるように力をつけていきます。

仕事についてよかったと思うこと

事業はお客様の不の解消を目的とします。仕事では難しい判断が求められることが多いですが、最終的にお客様のお役に立てて喜んでいただいたときが何よりの喜びです。お客様のご不便をひとつひとつ解消していく作業が、自信や経験につながり、やりがいを感じます。新潟県の果樹業界に携われていることに誇りを感じています。



1日の流れ

6:00~
7:30 資材の配達

8:30~
12:00 資材の配達、メーカーとの打合せ
農業補助金申請書の作成

13:00~
17:00 資材の受発注、資材の配達

17:00 翌日の配達の準備



仕事をする上で大切な能力

一番大切なのは、コミュニケーション能力であると感じています。ただし、ただ話せばよいとは思いません。場面や相手に応じた適切な言葉を使えることが重要です。加えて、我慢をする力も大切です。思い通りにいかないことが多い中で、我慢をしつつチャンスをうかがう姿勢も大切にしています。自分ひとりの力で成し遂げられることには限りがあります。価値観を共有する仲間とともに協力をしあいながら大きな成果を目指します。



取材を終えて

とても話しやすく、説明上手な方で会社の目標や心掛けていることについてよく知れました。私はお話を聞いて特に仕事において大切なのがコミュニケーションだということを理解しました。このことを心に留めて今後に生かしていきます。

学生時代の経験

野球をつうじて基礎体力を養い、礼儀を学びました。また、人間関係では、みんなに好かれようとするのをやめ、自分らしくいることの大切さに気づきました。このような経験が、今の私にとって大切な礎となっています。

中高生に伝えたいこと

後悔しないようにひとつひとつを大切に決断をしていていただきたいと思います。時間は有限です。限りある1度きりの人生を自分らしく彩ってください。





仕事についたきっかけ

16歳の頃、目標もなく遊んでばかりでしたが、その時に会った人たちからのアドバイスで、「資格を取ること」が大切だと教わりました。エンジンをいじるのが好きだったので、それを仕事にしようと決めました。そういう意味では、人との出会いがきっかけです。学生を終えてトヨタに就職しましたが、独立する機会があったので挑戦しました。

仕事のやりがいはココ！

お客さんが喜ぶ姿を見たときや、「ありがとう」の言葉をいただいた時がやりがいを感じる瞬間です。

必須アイテムはコレ！

知識と経験と工具です。



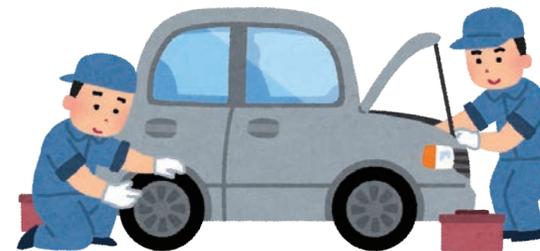
1日の流れ

06:00	起床・朝食の準備
08:00	出勤
19:00	退勤
20:00	帰宅・夕食
23:00	就寝



仕事を通じて学んだこと

学んだのは車の整備の大切さです。車というのは、ニュースでも報道されるように、時に凶器に変わることがあるので、その安全な使い方が重要です。整備や点検を怠ると、道路を走る上で非常に危険です。整備や点検のミスが原因で、車が事故を起こすことがないように、注意深く仕事をしています。



取材を終えて

とても遠かったですが、たくさんのお話を学べて、行って良かったと思いました。伺った際には、コーラをもらったりアイスももらったりしてすごい優しい人で良かったです。

人生の転機は？

16歳の時に会ったアルバイトの店長がいたからこそ、今独立して9年を迎えることが出来ました。

中高生に伝えたいこと

1. 人との出会いを大切にしてください。
2. 夢に向かって目標を持ってください。
3. 失敗を恐れなくて挑戦してください。

ぜひがんばってください！



プロフィール

学歴：長岡技術科学大学大学院
前職：東芝の設計者

会社の強みである大規模開発を
周辺市町村に広めることを今後の
目標としている



今の仕事についたきっかけ

私が働いている会社は、創立から50年ほど経つのですが、私の父が「白根不動産」という会社を立ち上げました。隣に「白根測量設計」という会社もあります。こちら私の父が創設しました。子供の頃から父の働く姿を見て、将来は自分もこんな風に仕事をしたいと思ったのが1番のきっかけです。また、30歳で家族ができたこともあり、今の白根不動産の仕事につきました。

印象に残っている出来事

印象に残っている出来事は多いですが、特に数年前のコロナ禍での出来事が強く記憶に残っています。日本全体が厳しい時期に、私たちは過去最大の土地を売るプロジェクトに取り組んでいました。しかし、コロナの影響で予約がすべてキャンセルになってしまいました。そのときは、本当に大変で、いまだに夢に出てくるほどです。

入社後のギャップ

入社前は、業界のイメージが明るく、若いスタッフが多いたと思っていましたが、実際には南区の不動産業者は年齢層が高く、思っていたのとは違っていました。また、白根不動産の会社は法人相手の取引が多く、アパート情報などを取り扱っていない、南区では珍しい大規模開発が強い不動産です。

仕事のモチベーション

モチベーションは、会社を維持することです。会社を継続させることで従業員やその家族にも影響を与えるため、良い結果を出すことに努めています。悪いことをせずに、正直に働くことが最も重要です。



1日の流れ

6:00	起床・身支度	12:00~ 13:00	昼休憩
7:00	子供の保育園準備 子供と遊ぶ	13:00~ 17:15	来客対応・不動産調査 外回り
7:20	情報収集	17:20	帰宅
7:50	会長と出社	17:30~ 23:00	家族と1日あったことを話す 晩酌・勉強・子供と遊ぶ
8:15	始業	23:00~ 23:50	趣味時間 (ゲーム・情報収集など)
8:15~ 12:00	来客対応・不動産調査 契約書作成	24:00	就寝

仕事上で大切な能力

仕事で大切なのは体力です。社会人としては、学業と違って休む時間が少ないですし、健康を維持することがまず第一です。また、不動産業者としては、誠実さが非常に重要です。昔は、騙して土地を買う、欠陥がある建物を黙って売ることが横行していました。それも、以前は不動産業界にブラックなイメージもありましたが、今はクリーンで正直な対応が求められるようになり業界が変化しました。信頼を築くことはとても大事です。

仕事の必須アイテム

必須アイテムとしては、パソコンとタブレット、そして不動産取引に必要な免許証が挙げられます。特に免許証は重要で、これがないと土地や建物の取引はできません。また、携帯電話も2台持ち歩いています。この4個が仕事に必要な不可欠なアイテムです。



学生時代の経験

学生時代の経験で生きている部分としては、友達を作り、多くの時間を遊んだことが良い思い出です。ストレス発散のために当時の友達に連絡を取ることもあります。また、たくさん勉強したことで自信を持てたのも良い経験です。それが現在の仕事にも影響を与えていると思っています。

中高生に伝えたいこと

夢に向かって頑張ることも大切ですが、自分が本当にやりたいことや向いていることを知ることが最も大切だと思います。特に今の若い子には自分の適性を理解することが大切だと思います。その方向に進むことで、社会に出ると役に立ち、楽しい人生を送ることができると思います。

取材を終えて

今回、海津さんに取材をさせていただき、とても有意義な話をお聞きすることができました。これまで職業体験はしましたが、話を聞くと言うことはしたことがなかったので学べるのが沢山ありました。「中高生に伝えたいこと」でお話して下さったように、自分がやりたいことや向いていることをこれからよく考えていきたいと思っています。





プロフィール

- ・施術歴 10年
- ・創立6ヶ月
- ・2児の母

仕事についたきっかけ

美容学校に通い、美容師免許を取得したことです。せっかく取得した資格を活かせる仕事がしたいと思っていましたが、美容師としての現場は、私には少し過酷で、時間が長く、給料も安いという点で自分に合わなかったんです。それで他の道を模索することにしました。

大切なスキルは？

集中力がとても大切だと思います。特に細かい作業が多いので、集中を欠くとミスにつながる人が多いです。お客様にも満足してもらうために、常に細かい部分にまで気を配ることが重要です。



心がけていることは？

お客様がリラックスできる時間を提供することを心がけています。それが一番大切ですね。

施術について

LEDの光で接着剤を固めるので、2秒で完全に硬化します。まつ毛エクステの種類には「フラットラッシュ」、「ボリュームラッシュ」、「バインドロック」があり、それぞれに特徴とおすすめがあります。価格は、まつ毛パーマが約6500円、エクステは6000円～1万2000円で、1ヶ月から1ヶ月半の持続性があります。



1日の流れ

06:00	起床・朝食の準備
09:00	出勤
12:00	休憩
19:00	帰宅・夕食準備
20:00	自由
23:00	就寝



人生の転機は？

自分のお店を持ったことです。理想の働き方を実現したいと思いました。他のサロンに勤めていると、どうしても制約が多いですし、自分の理想とは少し違う部分が出てきます。そのため、自分がやりたいことをもっと自由にできる場が欲しかったからです。



取材を終えて

南区にまつ毛パーマの店がない中、自分のお店を経営していて、全て器用にこなしているのになぞと感動しました。施術しているところを近くで見ている自分もやってもらいたいと思いました。インタビューを通じて、茜さんの仕事への情熱と成長、そして地域への貢献の姿がとても素敵だと思いました。

今後の展望と新しい取り組み

これから脱毛の機械を導入しようと思っています。また、フェイシャルも取り入れる予定です。

仕事を通じて地域への貢献

私がいる南区には、まつ毛エクステのお店が少ないので、たくさんのお客様が来てくれます。地域に貢献できている実感もあり、嬉しいです。

中高生に伝えたいこと

いろんなことに挑戦して、自分に合った職に就きたいです。最初は迷うことも多いかもしれませんが、経験を重ねることで、自分に合った道が見えてくると思います。



プロフィール

- 高志高校卒業
- 今年で28年目
- 27年開業
- 趣味は家でゆっくり

仕事についたきっかけ

サラリーマンとして働いた後に自分の家で栽培している野菜を販売することになり、その時にお客様から「凄く美味しかった！」と言われて、そのことがきっかけとなり自分でも野菜を栽培してみたくなり、この仕事に就きました。

仕事を続ける上での大切な能力

農業に必要なのは「根気」と、1歩踏み出す「勇気」だと思います。特に、作物の栽培や収穫作業では地道な作業多く、そのためには粘り強さが求められます。

仕事のやりがいはココ！

お客様に美味しいって言われた時と、野菜嫌いな子が食べられるようになったときですね。

仕事の必須アイテム

「はさみ」と「親指くん」と呼ばれる特殊なカッターです。



1日の流れ

05:00	起床
05:10	収穫
11:30	お昼
13:30	小売の準備<袋詰め等>
19:00	入浴
19:30	自由時間



仕事を通じて学んだこと

農業を通じて「いろいろな人と会うこと、異業種の人々と交流すること」が重要だということ学びました。また、地元とのつながりも大切だと思うようになりました。農業は単に作物を育てるだけでなく、地域社会に対する責任を果たすことが求められる職業であることにも気づきました。



人生の転機は？

自分の野菜が美味しいと評価されたことが、農家としての転機でした。そのことで自分の仕事に自信と誇りを持てるようになりました。

中高生に伝えたいこと

将来を考えている中高生には、自分が本当にやりたいことを見つけることが大切だと思います。また、どんな仕事であっても、自分のやりがいを見つけることが成功への鍵だと思います。

取材を終えて

どんな仕事でも続けていくうちに楽しさが分かってくるということがわかったのでとても為になりました。将来、農業に携わりたいと考えていて、これまで以上に家業である農業の手伝いを行って、その楽しさに気づいていけたらいいなと思いました。



プロフィール

- 東京学館卒
- 令和3年4月起業
- 仕事歴13年
- 趣味はゲーム (主にスマブラ)

おもな仕事内容

主に一般住宅の外回り工事を担当しています。具体的には、外壁の張り替えや屋根の貼り替えを行っています。

仕事についたきっかけ

きっかけは祖父の影響です。祖父が建築板金業をしていて、高校生のころからアルバイトとして手伝っていました。高校卒業後、やりたいことが特になかったため、そのまま祖父の仕事に就くことにしました。もともと体を動かすことや物作りが好きだったので、この仕事は自分に合っていると感じています。

印象に残っている出来事は？

今年に取得した1級建築板金の資格試験の勉強です。仕事が終わった後も夜遅くまで勉強を続けたため、非常に苦勞しました。また、神社仏閣の工事も数回経験しましたが、貴重な体験として記憶に残っています。

必須アイテムはコレ！

必須アイテムは腰袋、インパクトドライバー、電動ドリル、つかみはさみです。現場で使う道具としてこれらは欠かせません。



つかみはさみ



腰袋



インパクトドライバー



丸ノコ

1日の流れ

06:00 起床

07:00 出勤

08:00 仕事開始

17:00 事務作業

19:00 夕食・風呂

フリータイム

00:00 就寝

休日の過ごし方

休日はあまり取れないことが多いですが、土日でも白根の慈善活動や事務作業で忙しいです。その中での休みの日は、家でゲームをして過ごしています。特にスマブラが好きです。



遊戯王の高額ジャンボカード



事務所



事務所内仕事場

心掛けていること

心がけているのは、低姿勢で感謝の気持ちを伝えることです。相手に対して失礼にならないよう、言葉遣いや態度に気をつけています。



銅板で折った鶴

地域で働く良さは？

地元で働く良さとして、地域の人々との温かい交流があります。中央区から白根に引っ越してきた際には、地元の方々に温かく受け入れてもらい、日常生活や仕事の中でもちょっとした優しさを感じることができま

仕事を通じて学んだこと

仕事を通じて学んだのは、人との繋がり的重要性です。仕事は人と物の両方を相手にするので、人との関係を大切に、相手が何を考えているかを理解しながら作業を進めることが重要だと感じています。

中高生に伝えたいこと

周りの大人たちのサポートを頼りに、自分がやりたいことに挑戦してみることが大切です。周りの人々は割と助けてくれるので、一声かけてみると良いでしょう。また、自分の興味ややりたいことを追求することが大切です。

取材を終えて

今回のインタビューを通じて、働く人について話を聞かせて頂いたり、職場見学をさせて頂いたりした事で、職場の空気や他の会社の人との繋がりなどを体感でき、今が楽しいと思えて、自分と周りの人々や社会との繋がりを実感できるような働き方が良いことだと感じることができました。このインタビューを経て得た経験と自信を、将来に活かして行きたいです。



プロフィール

- ・趣味は外食、ラーメン食べ歩き など
- ・ドライブ

仕事についたきっかけ

28年前に入社した理由として、当時のF1ブームに影響され、自動車関連の仕事に興味を持っていたからです。自動車整備も考えましたが、ガソリンスタンドが身近な存在だったため選びました。



仕事のやりがいはココ！

やっぱりお客さんに、『ありがとう』とか、感謝の言葉を言われた時ですね。お客さんから『ありがとう』とか『いつも元気いね』といった言葉をいただくと、褒められて伸びるタイプなので、そういう言葉をもらった時は嬉しいですね。

必須アイテムはコレ！

- ・清潔な制服
 - ・お客さんとのコミュニケーション
- お客さんと常に関わってる仕事なので、泥だらけな服とか、汚れた帽子とか、見苦しいものはいけません。お客さんも汚いなって思ってしまい、あまりいいイメージを持ってなくなってしまうので、気を付けています。



1日の流れ

06:00 起床

07:30 出勤

12:00 お昼休憩

13:00 午後の勤務

17:00 退社

24:00 就寝



仕事を通じて学んだこと

「自分1人ではない」ということです。周りのスタッフや会社の人、お客さんなど色々な人に支えられています。我々の仕事は、お客さんが何か我々の提案を受け入れて、何か物を購入してくれたりすることで成り立っています。その仕事自体が決して1人だけで成り立っているわけではないことを学びました。

人生の転機は？

もうこの会社に28年就職してるから、ここに入った時だと思います。

中高生に伝えたいこと

「一番やりたいことが仕事でなくても、2番目に好きなことでも十分楽しめる」ということです。多くの人は、好きなことを仕事にしようと考えがちですが、実際にはその選択が必ずしも最良の道ではないことがあります。たとえば、絵を描くのが好きで漫画家やアニメーターを目指す場合、仕事になることで趣味としての楽しさが失われることがあります。一方で、必ずしも一番やりたいことを職業にしなくても、2番目に好きなことを仕事にして充実した生活を送ることも可能です。むしろ、そうすることで趣味と仕事のバランスが取れ、両方を楽しむ余裕ができるかもしれません。好きなことを無理に職業にするのではなく、少し違う道を選ぶことで新たな可能性を見つけられることも多いと思います。

取材を終えて

この度、土田石油株式会社白根店に取材をできてとてもよかったです。地域との繋がりや人との関わりの大切さへの意識を深めることができました。また黒井さんの話がとてもわかりやすく、楽しいもので、この活動で仕事をする事への意欲を高めることができました。



仕事の内容

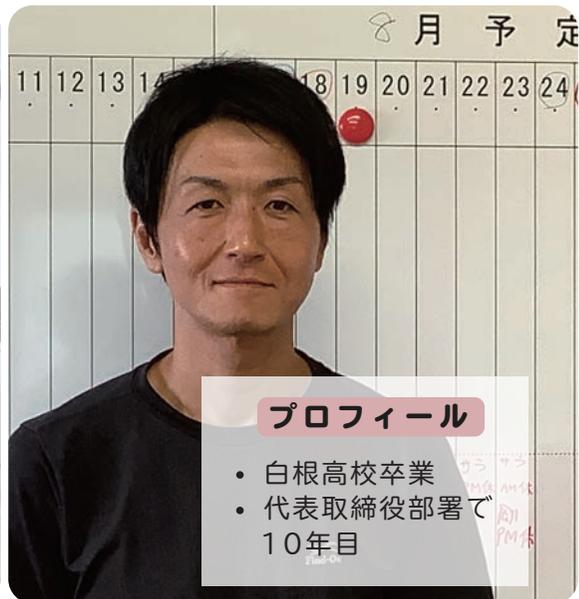
農産物の栽培、管理、販売が主な業務です。具体的には、作物の育成に必要な土壌管理や施肥、病害虫の対策などを行い、その後、収穫した農産物の品質管理や販売準備も行います。一日のスケジュールは季節や作物の成長段階によって変わるため、柔軟に対応する必要があります。

仕事についたきっかけ

実家が長年農業を営んでいたことにあります。父親が病気で農業を続けることが困難になり、私がお手伝いをするようになりました。その過程で農業の魅力や大変さを深く理解し、自然と農業への興味と情熱が芽生えました。

仕事のやりがい・自慢ポイント

現在の仕事で最もやりがいを感じる瞬間は、自分が育てたお米や野菜が、お客様に食べてもらい、美味しいと評価されるときです。自分の手で育てた作物が、他の人の食卓で喜ばれることは大変な励みとなり、農業に対する情熱がさらに深まります。お客様からの「美味しかった」という言葉は努力が実を結んだ証です。



プロフィール

- ・白根高校卒業
- ・代表取締役部署で10年目

学生時代の経験

学生時代に野球部で培った我慢強さや目標に向かって努力する姿勢が、現在の仕事に大いに役立っています。野球部での経験を通じて、困難に直面しても忍耐力を持ち続けることの重要性を学びました。この姿勢が、農業の厳しい環境下でも前向きに取り組む力となり、日々の業務においても大きな支えとなっています。

必須アイテムはコレ！

長靴と鎌です。長靴は、泥や水たまりの中でも足元を守り、農作業を快適にするために欠かせません。鎌は、作物の収穫や雑草の刈り取りに必要な道具で、特に野菜や穀物の手作業での作業において、効率よく作業を進めるために重要です。



1日の流れ

- 05:00 起床・田んぼに向かいます
- 07:00 田んぼから帰宅・朝食
- 08:00 出社
- 17:00 退社・田んぼ向かいます
- 19:00 帰宅 夕食・入浴等
- 23:00 就寝

仕事を通じて学んだこと

仕事を通じて学んだことは、農作物と同じように、会社も人々の集まりであり、人間関係の重要性が非常に大切だということです。会社内では、互いに気を配り、同僚を思いやるのが成功の鍵となります。良好な人間関係を築くことで、職場環境が円滑に運営され、全体の健全な成長に繋がります。

出荷できないものはどうする？

規格外のブロッコリーなどの出荷できない農産物は、地域の小学校や中学校に寄付しています。これにより、食材が無駄にならず、地域の子供たちに新鮮な野菜を届けることができるため、地域貢献にもつながっています。

仕事上で大切な能力

農作物を細かく観察し、その変化に迅速に気づく観察力です。作物の健康状態や成長の変化を注意深くチェックすることで、適切な対

取材を終えて

鋤間さんの話を聞いて、農業が単なる作物を育てるだけでなく、人とのコミュニケーションや体力、そして観察力が非常に重要であることがよく分かりました。また、暑さ対策やさまざまな工夫が必要で、農業には多くの取り組みが含まれていることに驚きました。今回の取材で、今からでもできることや取り組めることがあると気づき、非常に有意義な学びとなりました。お忙しい中ご協力いただき大変ありがとうございました。



従業員の休憩所



ミニトマトハウス



トラクターが大活躍

策を講じることができ、品質の高い農産物を安定して生産することが可能になります。

今のうちにしておくといいこと

農業に興味がある中高生には、まず日常生活の中で身近な田んぼや農地に目を向けることをお勧めします。例えば、通りかかる際に田んぼや畑をじっくり観察してみるだけでも、農業への理解が深まるでしょう。ほんの少しの観察が、農業の魅力やその実際の運営方法についての洞察を得る手助けとなり、大きな違いを生むかもしれません。

中高生に伝えたいこと

若い人たちが農業に従事することはまだ少ないですが、農業には多くのやりがいや魅力があります。例えば、自分の手で育てた作物が実る喜びや、自然と触れ合う楽しさがあります。興味を持った方は、ぜひ一度農業に挑戦してみてください。また、当社では新しい仲間を常に歓迎しています。興味がある方は、ぜひ気軽にお問い合わせください。



業務内容

コンビニエンスストア12店舗の運営管理をしています。

仕事についたきっかけ

単純に親がやっていたからです。自分には他にやりたいことが特になかったので、そのままこの道に進むことにしました。

よかったと思う瞬間

一番嬉しいのは、人が成長していく姿を見られることです。私たちの仕事は多くの人に関わっているので、全体で見れば100人以上のスタッフがいます。その一人ひとりが成長していく様子を見るのが楽しいですね。

必須アイテムはコレ！

携帯とPCさえあれば仕事はできると思います。あとは「根気」。「根気」があるからこそ、長く続けることができるんだと思います。



1日の流れ

- 07:00 起床・家事
- 09:00 自宅にてメールなど店舗外業務
- 13:00 店舗巡回
- 16:00 面接・面談
- 18:00 退勤・プライベートタイム
- 21:00 帰宅
- 24:00 就寝



印象に残っていることは？

色々ありますが、やはり店舗が増えていくことが印象的です。これは、この仕事でなければ簡単には経験できないことです。店舗を新たに立ち上げるというのは、大きな挑戦ですが、その過程を見守るのは楽しいです。

大切な能力は？

特別な能力はないかもしれませんが、根気が大切です。根気を保つためには、自分だけでなく、誰かのために何かをするという目的意識が必要です。そうでないと、どんな仕事も続けるのが難しいでしょう。

取材を終えて

会社の社長(取締役代表)さんからの貴重な話を聞いて、就活をする上でのアドバイスなども聞いて将来物凄いためになる出来事になったと思いました。株式会社トライアイさんの菰田さん、この度はありがとうございました。



警察に協力し
特殊詐欺防止等も
コンビニの大事な
仕事です。

進路についてのアドバイス

今は人手不足の時代なので、就職には有利かもしれませんが、これが永遠に続くわけではありません。企業は機械化を進めていますから、将来的に残る人材は能力があるか、謙虚であるかのどちらかだと思います。仕事とは、最終的にはお客様を幸せにすることが目的です。そのために自分の価値をどう売り込むかが重要です。



仕事についたきっかけ

私は白根生まれ白根育ちで、この白根が大好きでした。街を明るくしたいなと思ってスナックを始めました。

仕事のやりがいはココ！

地域密着型だから知り合いが増えれば増えるほど、いいことがたくさん!!

この地域で働く魅力は？

白根は小さな町で、駅もバスも少ない地域です。地域密着型のコミュニティなので、知り合いになればどこかで必ず再会します。そのようなつながりが、この地域の魅力ですね。

そして、人と人とのつながりの場所としてお店に来店して下さるお客様同士、仲良くしてくれるのも、この街の魅力だと思います。

印象に残っていることは？

私が独立した時のことですね。それまで雇われママとして働いていたんですが、独立してお店を始めた時にたくさんのお祝いの花が届きました。それがとても印象に残っていて、一番嬉しかった瞬間です。



1日の流れ

- 06:30 起床・朝ごはん作り
- 09:00 パート
- 15:00 退勤
- 16:00 帰宅・夕食準備
- 18:00 お風呂・夕ご飯
- 19:30 スナック優笑 出勤
- 25:00 営業終了
- 25:30 就寝



仕事を通じて学んだこと

目上の方に対する接客の仕方ですね。それが大きな学びでした。



学生時代の経験で生きていること

学生時代、コンパニオンの仕事をしていました。その時に人と接するスキルを学び、それが今の仕事に活かせていると思います。

人生の転機は？

21歳の時に白根青年会議所という町を活性化する組織に入ったことが、私にとっての大きな転機でした。

中高生に伝えたいこと

アルバイトを通じて大人と接することが大切です。早い段階から大人と関わることで、将来のためになると思います。

取材を終えて

スナックは色々な大人と触れ合えて楽しい思い出話とかをする場所だと思いました。話を聞いて学んだことは責任感です。やっぱり自分の仕事を持つことでやるが増え、全部自分で責任を持たないと行けないので、僕も働いた時は責任感を大事にしたいと思います。





プロフィール

- ・ 建築大工
- ・ 経験年数 23年

仕事についたきっかけ

家業を継ぐ形でこの仕事に就きました。体を動かすことが好きで、小さい頃から父や職人たちの仕事を見ていたので、自然と憧れを抱いていました。



仕事のやりがいはココ！

地元での仕事を通じて多くの人と関わることができるのは良い点です。特にリフォームでイメージ通りに仕上がった時に、お客様からの感謝の言葉をいただくとやりがいを感じます。



必須アイテムはコレ！

- ・ 電動工具
- ・ 腰袋



1日の流れ

6:00	起床・朝食の準備
7:00	仕事の準備、移動
8:00	仕事
12:00	昼食
13:00	仕事
22:00	就寝



仕事を通じて学んだこと

- ・ 礼儀、段取り
- ・ コミュニケーション



人生の転機は？

建築士の資格を取得した時にやる気が湧きました。それ以外に特に大きな転機はありませんが、仕事に対する意識は一貫して変わっていませんでした。



中高生に伝えたいこと

常に目標を持ち、その目標に向かって日々行動することが大切です。目標設定をしないと、だらだらとした時間が過ぎてしまいます。



取材を終えて

お話を伺い、発言の仕方、態度、礼儀の大切さを改めて実感しました。始めて知ることも多く、ミスをしてしまった場合などの質問など、大変興味深いものでした。失礼のない感じで終えることができました。短い時間でしたが、聞ける質問は全部聞けて良かったです。



プロフィール

- 新潟県出身
- 経験年数19年目
- 3歳の息子がいる

仕事内容

南区の自治協議会の運営を担当しています。月に1度の会議を運営したり、自治協議会主催の地域イベントの開催のサポートなどを行っています。

仕事についたきっかけ

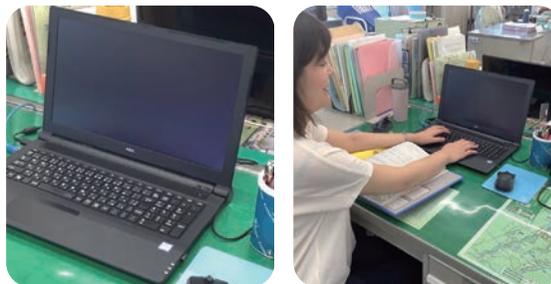
新潟県出身で、地元で貢献したいと考えていたことと、公務員は子育てしながら働きやすい環境だとイメージしていたことから、市役所を選びました。

仕事のやりがいはココ！

市役所は異動があり、様々な業務を経験します。どの部署に行っても、仕事で関わった方や市民の方から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたときは、やりがいを感じます。

必須アイテムはコレ！

パソコンは必須アイテムです。ほぼ全ての仕事をパソコンで行っていて、資料を作ったり、メールを送ったりするので、パソコンは非常に重要です。



1日の流れ

05:50	起床・お弁当・朝食の準備など
～	息子を起こす・保育園に登園する準備
08:00	息子を保育園に送り出しながら出勤
09:00	出勤
16:30	退勤～息子を保育園に迎えに行く
17:15	帰宅～夕食の準備など
22:30	就寝



印象に残っている仕事

以前、学校給食に関わる仕事をしていました。学校給食の提供方法を大きく変える事業に関わり、多くの人と協力して取り組んだことが印象に残っています。



進路を決める上で大事にしたこと

将来の生活イメージを描くことや、自分の興味に基づいて進路を選ぶことが重要です。興味が明確であればそれに向かって頑張り、決まっていな場合は経験を通じて見つけることも可能だと思います。

取材を終えて

今回の取材を通して公務員の方々がどのような仕事をされているか知ることができました。他にも仕事への想い、やりがいなどといった実際に働いている人にしかわからないような貴重なお話を聞くことができました。また、取材を始める前はうまく取材ができるのか不安な気持ちもありましたが、多くの人のサポートもあり、取材を成功させられて良かったです。

人生の転機

高校時代に見た法律関係のドラマがきっかけで、大学は法学部に進みました。その後、地域に貢献したい気持ちが強くなり、市役所を選びました。

この地域で働く良さ

南区の方々が地域イベントやまち歩きに一生懸命取り組んでいる姿を見て、この地域で働くことにやりがいを感じています。

中高生に伝えたいこと

今やりたいことに挑戦し、周りの人との繋がりを大切にすることが将来の役に立つと思います。



プロフィール

- ・袖山商店3代目
- ・趣味は銭湯や温泉めぐり

仕事についたきっかけ

この仕事を選んだというよりは、祖父の代から続く家業で、自然と自分が継ぐものだと思って育ちました。私には特別な選択肢があったわけではなく、家業にそのまま入ったという感じです。昔から自営業というのは、長男が家業を継ぐのが当たり前でした。家業を継ぐことは責任もありますが、家族の歴史を守り続けることにやりがいを感じています。

必須アイテムはコレ！

最近では、iPadが欠かせない必須アイテムになっています。お客様の情報管理から、在庫確認、さらには農業関連のハイテク機器との連携まで、ほとんどの作業がiPad一台でできるようになりました。例えば、肥料の注文状況やお米の精米スケジュールも簡単にチェックできるため、仕事の効率が格段に向上しています。

もちろん、軽トラックやトラクター、精米機なども重要な道具ですが、今はiPadが最も頼りになるツールかもしれません。デジタル技術がこの仕事をよりスムーズにしてくれています。

仕事のやりがいはココ！

お米や肥料を販売している中で、一番やりがいを感じるの、お客様から「美味しかった」や「作物がよく育ったよ」といった言葉をいただく瞬間です。特に、農家の方々が私たちの肥料を使って立派な作物を収穫できたり、一般のお客様が美味しいご飯を家族と楽しめたという話を聞くと、本当にこの仕事をやっていてよかったと感じます。「ありがとう」という感謝の言葉もらえる瞬間は、自分が地域に貢献できているという実感が湧き、とても嬉しいです。それが、この仕事を続ける大きな原動力となっています。



1日の流れ

- 06:00 田仕事 朝は早いです
- 08:00 配達 様々所へお届けします
- 10:00 精米 精米機がフル稼働！
- 13:00 営業&事務仕事
- 16:00 田仕事 夕方まで作業をします
- 18:00 片付け ここまでが仕事です



仕事を通じて学んだこと

仕事を通じて一番学んだことは、人との関わり方や付き合い方です。特に、過去に大きな失敗をして怒られた経験が、自分を成長させるきっかけになりました。その時、自分の行動が相手にどんな影響を与えるかを深く考えるようになりました。20年の経験を積んできましたが、まだまだ半人前だと感じています。それでも、相手の立場に立って物事を考え、どんな対応が最適かを慎重に判断する力が少しずつ身についてきたと思います。失敗を糧に、常に成長し続ける姿勢が大事だと痛感しています。



取材を終えて

袖山さんの取材を終えて、最初は販売業だからあまり忙しくないのだろうと思っていましたが、実際は朝早くから田仕事をしたり、休憩の時間もほとんどない日々を過ごしていて、どんな仕事も楽なものではないと感じました。今回の取材を通じて、仕事に対する責任感や努力の大切さを改めて実感しました。将来、自分がどんな職につくかはまだわかりませんが、この経験を活かして自分の目標をしっかりと見つけていきたいと思っています。

人生の転機は？

人生の一番の転機は、やはり結婚と子供が生まれた時です。それまでは、自分の時間を楽しむことばかり考えていましたが、子供ができてからは一気に責任感が増しました。自分だけの人生ではなく、家族や子供の将来のために頑張ろうという意識が強くなり、考え方が大きく変わりました。例えば、仕事に対しても、家族を支えるためにもっと真剣に取り組むようになりました。子供の成長を見守りながら、彼らに恥じない生き方をしたいと強く感じています。

中高生に伝えたいこと

今の中高生は、これから進学や就職の選択をする大事な時期を迎えます。その際、失敗を恐れずに、ぜひ色々なことにチャレンジしてほしいです。何かに興味を感じたら、その気持ちを大切に、一歩踏み出してみてください。たとえ小さな興味や不安があったとしても、実際に挑戦することで新たな発見や自分の可能性を見つけることができます。



仕事についたきっかけ

小学校の頃からヘアアレンジに興味があり、妹の髪をよく切っていました。学校では友達の髪をカットしており、美容師としての道を選びました。

仕事のやりがい

お客様の期待に応えられた時や、感謝された時に良かったです。また、再来店して下さった時も嬉しいです。

美容師に大切なこと

笑顔と小さなことを気にしないこと、そして美容が好きである気持ちを持つことが大切です。また、コミュニケーション能力も重要で、人の話をしっかり聞き、受け入れる姿勢が大切だと思います。

必須アイテムはコレ！

ハサミ、コーム、バリカン、ケア用品、ブラシ、ハンドクリーム などです。



1日の流れ

05:45	起床・朝食の準備
07:40	娘の送り
08:30	出勤
16:30	退勤
17:00	娘の迎え
18:00	帰宅・夕食準備



仕事をしてよかった事

お客様の期待に応えられた時や、感謝された時に良かったです。また、再来店して下さった時も嬉しいです。



学生時代の経験で生きていること

専門学校時代に一人暮らしを始め、生活全般を自分で管理することが大変でしたが、その経験が今の仕事に繋がっています。

取材を終えて

中学校の頃から美容師になりたいと考えていました。取材を終えて、お客さんの望む髪型にして感謝される美容師の姿がとてもかっこいいと思い、今まで以上に美容師になりたいと思えるようになりました。大変な部分が多くあることもわかりましたが、それでも仕事していて良かった事を聞いて頑張りたい気持ちになりました。

仕事をしていて特に印象的な事

特に印象に残っているのは、怒られた経験です。最初のころはよく怒られていましたが、それも仕事の一部として受け入れました。当時は辛かったですが、その経験も今では楽しい思い出です。

中高生に伝えたいこと

社会がどう変わるかはわからないけれど、自分でやりたいことを決めると楽しい人生が送れると思います。失敗を恐れず、学生のうちは今しかできないことを楽しんでください。



仕事のやりがいはココ！

お客様から直接「ありがとう」や「よかったよ」という感謝の言葉をいただけることですね。またお客様が喜んでいる姿を直接見られるのが、何よりもこの仕事の醍醐味だと感じます。

必須アイテムはコレ！

ハサミ、量を調整するスキバサミや、カミソリのようなレザー、髪をとかすためのクシなどカラーリング用の道具も重要!!



プロフィール

- ・ 工業高校卒業
- ・ 勤続6年目

仕事についたきっかけ

父が調理師をしていたことが影響しているかもしれません。高校卒業の際に、資格が取れる専門学校に行くことを勧められ、保育士や調理師、美容師などの選択肢がある中で、漠然と美容師を選びました。



～1日の流れ～

06:30	起床・朝食の準備
08:20	出勤
18:00	事務作業
19:00	退勤
19:30	帰宅・夕食
22:00	就寝



美容師として大切にしていること

お客様にもっと良いヘアスタイルを提供したいという気持ちを大事にしています。その人をより素敵にしたい、もっと喜んでもらいたいという思いが、仕事の原動力になっています。



印象に残ってるエピソードは？

シャンプーやカットの際に、お客様に「手から気持ちが伝わる」と言ってもらえたことが印象に残っています。やっぱり、手の当たり方ひとつで、相手に感情が伝わるんだなと実感しました。

中高生に伝えたいこと

いろんなことに挑戦して、若いうちにたくさん経験を積んでほしいです。仕事は長く続けるものなので、楽しいと感じる仕事を見つけられると、人生がもっと充実すると思います。

取材を終えて

高校の勉強が大事でそれが基礎になるということが分かった。自分たちで会社をまわしていくことは簡単だと思ってたけど意外とむずかしいこともわかった。



プロフィール

- 出身 新潟県
- 経験年数 14年
- 趣味 ヘアセット

仕事についたきっかけ

元々、このお店は代々続いているので、家族から「お前も続けろ」と言われたのがきっかけです。

仕事について良かったと思う瞬間

お客さんが喜んでくれる時が一番の喜びです。それ以外には考えられません。

特に印象に残っている出来事

コンテストのことが印象に残っています。お客さんが感動してくれたことや、社長に褒めてもらったことが記憶に残っています。

うちの自慢ポイント

うちは技術や化学の面でも一通り揃っているなので、最先端の技術も対応できます。インスタやTikTokで話題の技術も取り入れており、例えば、特殊な製品を使ったケアなども行っています。



1日の流れ

- 06:00 起床・朝食の準備
- 07:00 ご飯、子供の面倒
- 09:00 出勤
- 19:00 帰宅・夕食準備
- 21:00 子供寝かす、髪の毛で遊ぶ
- 24:00 就寝



仕事を通じて学んだこと

継続することが重要です。挫折しても、続けることで一定のレベルには必ずたどり着けます。また、挫折に対処する方法も大切です。

学生時代の経験で活きていること

学生時代にはとにかく遊びました。いろいろな場所に行ったり、恋愛したりすることで、多くの経験が得られました。人の長所や短所がわかるようになり、仕事にも活かされています。

取材を終えて

将来、自分の就きたい仕事についてインタビューできて美容師になるまでに大切な心構えなどをたくさん知ることができました。何事でも不器用でもやり続けて最後まで継続することが大切だと分かったから将来に活かしていきたいです。

この仕事をする上で大切な能力

人を好きになること、人に興味を持つことが大切です。さらに、折れない強い気持ちも重要です。不器用な人でも、経験を積むことで力がつくと思います。

中高生に伝えたいこと

転職を繰り返すのは避けた方がいいです。特に20代後半から30代になると、職歴が問題になることがあります。目標を持ち、努力を続けることが重要です。



プロフィール

- ・事務・経理の仕事に就いて10年目
- ・趣味：動画鑑賞
- ・ペット：フレンチブルドッグ

仕事の内容

事業活動に伴うお金の流れを記録し、取引記録となる証票書類の管理

1. 帳票処理・請求管理
2. 決算業務・帳簿記録
3. 給与の支払い処理・経費の精算、管理
4. 福利厚生業務（社員の情報管理、手続き、社内行事）

仕事についたきっかけ

社長から「良かったら事務員として働いてみませんか？」と声を掛けてもらったことが、事務の仕事始めるきっかけでした。それまではあまり意識していなかった職種でしたが、社長の信頼を感じ、挑戦してみようという気持ちが芽生えました。

仕事の大変なところ

最も大変なのは、正確さが絶対に求められるお金の管理です。小さなミスでも大きな影響を与える可能性があるため、常に集中力を切らさずに、細心の注意を払って業務を進めなければなりません。

必須アイテムはコレ！

- ・電卓・・・日々の計算作業で素早く正確に数字を処理するために必須です。
- ・パソコン・・・経理ソフトを使ったデータ入力や書類作成に欠かせません。



必要な能力

必要な力は「集中力」と「コミュニケーション力」です。集中力は、特に数字を扱う際にミスを防ぐために欠かせません。また、仕事の種類が多岐にわたるため、社内外のさまざまな人と関わることが多く、的確で円滑なコミュニケーション力も重要です。この2つがバランスよく備わっていることで、仕事をスムーズに進めることができます。

1日の流れ

07:30	起床	この樽は何？ あおやぎ塗装には梅の木があり、社長が梅干し好きなのも手伝って、毎年会社の行事として梅干しを漬けています。スタッフの手で漬けられた梅干しは、みんなで楽しむ恒例の風物詩です！
09:00	出社	
12:00~ 13:00	休憩	
18:00	帰宅 夕食・風呂・家事等	
22:00	自由時間 愛犬と遊びます	
24:00	就寝	

仕事を通じて学んだこと

地域との深い関わりです。この会社では地元のお客様や取引先が多く、地域の方々の信頼関係がとても重要だと実感しました。日々の業務を通じて、地域社会とのつながりをより強く感じる事ができ、その中でこの仕事の大切さを学びました。

人生の転機は？

この会社に入社したことです。ここで働くことで、さまざまな人との出会いがあり、その一人ひとりと深く関わることができました。仕事を通じて、ただの表面的な関係ではなく、人間としてのつながりを深めていくことができたのは、とても貴重な経験だと思います。



取材を終えて

取材前は、事務職はお金の管理や多くの業務があり、大変な仕事だと感じていました。しかし、実際にインタビューを通じて、事務職に対する印象が大きく変わりました。職場によっては、自由にのびのびと働ける職業であることが分かりました。このインタビューを通じて、事務職に対する興味がさらに深まり、自分もその職業にチャレンジしてみたいと感じました。高橋さん、お忙しい中大変ありがとうございました。



仕事でのやりがい

日々の業務がスムーズに進み、同僚や会社全体に貢献できていると実感したときにやりがいを感じます。特に、社員から感謝の言葉をもたらしたり、自分のサポートが他の人の仕事を円滑に進める助けとなっていると感じた瞬間は、非常に充実感があります。また、問題が解決して会社全体がスムーズに回るのを見たとき、自分の役割の重要性を再確認し、日々の仕事に対するモチベーションがさらに高まります。

中高生に伝えたいこと

皆さんには、たくさん遊び、いろいろなことに挑戦してほしいです！失敗を恐れず、やってみることで新しい発見が必ずあります。さまざまな性格や考え方、個性があることは素晴らしいことです。自分が「楽しい！」と感じることを見つけ、それに一生懸命取り組んでください。好きなことに熱中することで、自分らしさを伸ばし、将来の道が広がります！



仕事内容

建築板金 住宅や工場などの屋根・外壁・雨どいなどの取付・交換・修理などの工事

仕事についたきっかけ

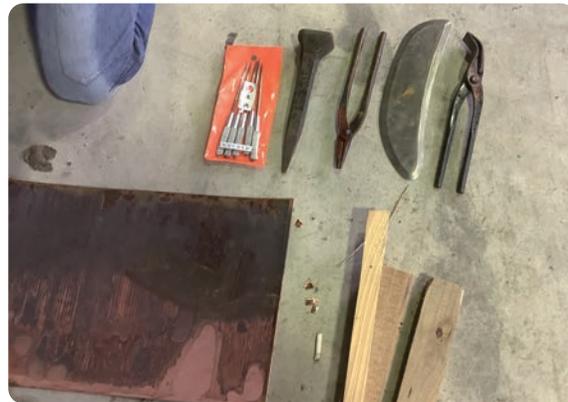
自分の親父が仕事をしており、手伝っていた経験から、自分もこの板金業に携わることにしました。

仕事のやりがいはココ！

工事終わった後にお客様にお礼を言われた時が1番よかったなと思いますね。普段は住宅や工場の外壁を担当しているのですが、寺院や神社の工事にも携わったことがあります。特にお寺や神社の工事が終わった時は、何とも言えない特別な気持ちになりましたね。

必須アイテムはコレ！

- お客様とコミュニケーションを取る時の丁寧な姿勢と笑顔
- 仕事道具



1日の流れ

- | | |
|-------|-----------|
| 07:00 | 出勤・ミーティング |
| 08:00 | 材料の準備・加工 |
| 12:00 | 昼食 |
| 19:00 | 帰宅・夕食 |
| 20:00 | 事務作業 |
| 23:00 | 就寝 |



地域との関わりを感じる部分は？

地域のお家を修理することで、お客様が住み慣れた場所に住み続けるお手伝いができるのは嬉しいですね。また、次に何かあれば相談していただいたり、再度依頼をいただけることも、この仕事の魅力です。



取材を終えて

小学校の時から朝から音が聞こえ何をしてるか気になっていたのですが、中の様子を見る機会はありませんでした。このインタビューをきっかけに、初めて会社の中を知ることができ嬉しかったです。仕事はいろいろ大変で、準備したり、コミュニケーションを取ったりすることが大切で、いろいろ大変だけど仕事をしていくうちにやりがいや目標を見つけて行けることがわかりました。

人生の転機は？

代表になったことですね。自分が代表になると夢にも思っていなかったのが不安や心配がありました。やってみて得たことも多かったです。

中高生に伝えたいこと

将来、いろんな選択肢があると思いますが、少しでも興味を持ったことには、失敗を恐れずに挑戦してほしいと思います。



仕事の内容

うちの会社は大きく2つの仕事をしています。1つは公共工事、いわゆる土木工事業で、市役所とか新潟県、国から依頼される仕事です。そして、もう1つは民間の仕事で、建設資材の運搬や建物の基礎工事なんかも行っています。最近では、白根高校の近くのスーパーも工事しました。

仕事についたきっかけ

正直、きっかけと言われると難しいですが、親や祖父の代からこの仕事をやっていたので、子供の頃から『多分自分もこの道だろうな』と思っていました。大きな転機は、神奈川で結婚し、子供が小学校に上がるタイミングで新潟に戻ってきた時ですね。それで、この仕事に本腰を入れることになりました。



仕事のやりがいはココ！

一番やりがいを感じるのは、やはり無事に工事が終わった時です。例えば、先ほど話したスーパーが完成して、『うまくいったよ』という報告を受けた時には、すごく達成感を感じます。特に国や自治体から感謝の言葉をもらった時は、やって良かったなと思いますね。



1日の流れ

06:00	朝食
06:50	出勤
17:00	翌日の配車、配置 従業員への申し送り
19:00	帰宅
19:30	夕食
23:00	就寝



大切なスキル

建設業は危険な仕事ですから、現場に出る前にその日の危険を予測しておかないといけません。現場に入るときも、常に周囲の危険を察知することが求められます。隠れている危険を見抜く力が必要ですし、その意味では『慎重さ』が一番大事だと思います。

取材を終えて

建設業が気になって竹内建材さんをお邪魔しました。どんな仕事内容で、どのように建設業が成り立っているのかがしっかり学べたのでとても良かったです。

必須アイテム

必須なアイテムは重機ですね。現場で重機がないと何も出来ませんから、そういった意味では1番の必須アイテムかなと思います。



学生時代の経験で役立つこと

少し意外かもしれませんが、やっぱり勉強ですね。特に数学、三角関数とかですね。私も学生の頃は『こんなの何の役に立つんだ』と思っていましたが、建設現場では非常に役立ちます。三角形の面積や角度の計算などが分かっていると仕事になります。

中高生に伝えたいこと

今の中高生に伝えたいのは、いろんな人と関わってみることです。同級生だけでなく、知らない人の意見も聞くことで、視野が広がると思います。いろんな人の考え方を知ることは、自分の成長につながりますので、ぜひ積極的に関わってみてください。



プロフィール

- 白根高校卒業
- 鳶職18年目
- 趣味 釣り、ゴルフ
映画鑑賞

この仕事で良かったと思う瞬間

毎日いろんな現場に行けることです。特に、与えられた現場で夜遅くまで作業することもあります。それでも現場が終わるまでやり遂げる達成感があります。

仕事のやりがいはココ！

形には残るものではないけど、自分が作った足場を他の職人さんが「使いやすい」と感じてくれることです。それが一番の喜びです。

仕事を選んだきっかけ

学歴関係なく稼げる

仕事で大事なこと

体力！



必須アイテムはコレ！



1日の流れ

- 06:00 起床・朝食の準備
- 07:00 出勤
- 17:00 退勤
- 18:00 帰宅・夕食準備
- 19:00 お風呂、自由時間
- 22:00 就寝

仕事で1番大変なこと

痛いことや、気温などが熱い時寒い時、運ぶものなどが重い所や怪我などが大変

地域との関わりを感じる部分

たこ合戦さじきを作らせて頂いているそう言うところで関わりを感じる

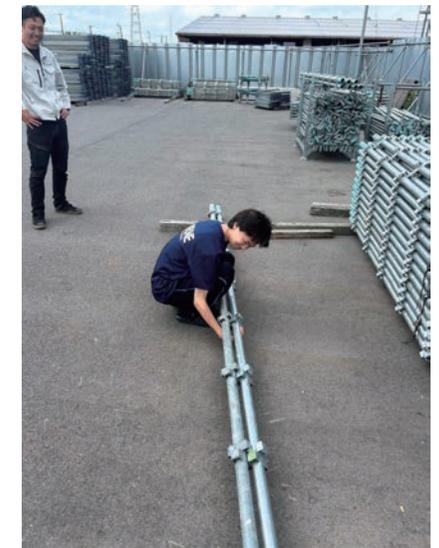
仕事のやりがい

足場は形に残るものじゃないけど足場をつくってくれるやりやすいなと感じてくれるところに喜びを感じる



取材を終えて

高校を卒業しないといい職業に就けないのかと思っていただけそんなことはなくたくさんやることがあるということが分かりました。あと努力や我慢は報われると思えば辛い時でも頑張ろうと思いました



中高生に伝えたいこと

勉強はきちんとしといた方がいい、お金は大事にする



プロフィール

- 経験年数 20年
- 新潟出身

仕事についたきっかけ

シール、ラベル、ステッカーなどの印刷をする会社です。親の会社だったので自然とその会社を継ぐ形で、この仕事を選びました。

必須アイテムはコレ！

細かい部分を見るためのルーペが最も重要です。

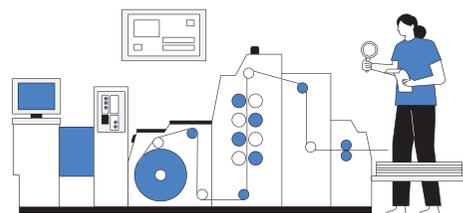


印象に残っている出来事

うまくいかなかった時やクレームがあった時のことは印象に残ります。失敗を繰り返さないようにするためにも、それらの経験は大切です。

怪我などのリスク

以前は機械に挟まれて指を失った人もいましたが、現在は機械の安全性が向上しているため、あまり聞かなくなりました。それでも怪我はあります。



1日の流れ

7:30 起床

8:25 出勤

17:30 退勤

18:00 夕食

24:00 就寝



重要な能力は？

大雑把ではなく、細かい部分に気づける神経質さと集中力が必要です。また、スタート前のチェックでミスを見つけることも重要です。

喜びを感じる瞬間

細かい作業が多く誰にでもできる仕事ではないので、思い通りに仕事が出来たら喜びを感じます。

地域との関わり

商工会など地域団体に参加しており、地域の人々との繋がりを感じています。地域のイベントにも参加することで、地域とのつながりが深まります。

中高生に伝えたいこと

好きなことを追い求めて、失敗しても続けることが大切だと思います。



取材を終えて

細かい部分を見るときは、機械に頼らずルーペを使って自分で確認するところが、職人だと思いました。そして、今回のインタビューで学んだことを自分の将来に活かしたいです。



仕事についたきっかけ

家が元々農家だったこともあって、子どもの時から手伝いをしていました。ですので、自然と農業に携わるようになり、農家になりました。

仕事のやりがいはココ！

自分で作った野菜なので取れたてが1番美味しいです。そういうことを、自分で確かめられる楽しさがあります。台風や雨が降らない気候条件が重なり作物が不作になった時の不安はありますが、作物を育てる楽しみの方が大きいです。

年間のスケジュールは

3月の終わりから田んぼの修理や準備を始め、4月に苗を育て、5月に植えます。野菜については、春に植えたものは夏に収穫でき、初夏に植えたものは秋に収穫するものもあります。これを逆算して苗作りをするなどして栽培しています。



1日の流れ

- 04:30 起床、準備
- 05:00 田んぼ点検、その他作業
- 07:00 朝食
- 12:00 昼食
- 18:30 帰宅、夕食
- 22:00 就寝



トラクターの運転について

公道を走る際、時速30キロ以下で走る場合は「小型特殊免許」で運転できます。30キロ以上で走る場合は「大型特殊自動車免許」が必要です。ただし、田んぼの中で使う分には免許は必要ありません。



嬉しい瞬間

自分の栽培したコメや野菜を食べてもらった時、美味しい表情を見れたときや美味しいという言葉が聞けたときは、とてもうれしいです。

中高生に伝えたいこと

いきなり農業と考えると敷居が高く感じますが、まずは自分の食べたい物を植木鉢に植えて栽培収穫まですると面白さが分かるかと思います。小さな事から興味を持ってぜひ農業にチャレンジしてみてください！

取材を終えて

自分の分からない事をひとつひとつ丁寧に教えていただき良い勉強になりました。トラクターを運転するには普通免許では無理ということが一番驚きでした。農家さんは朝一から作業があり、毎日が忙しいということがとてもよく分かりました。自分で育てたものを人に美味しいと言ってもらえたら嬉しいだろうなと感じました。



主な仕事の内容

仕事は主に仕入れと配達です。最近は店頭にも入るようになり、アレンジメントや花束を作ったりしています。以前は配達と仕入れがメインでしたが、最近は店番も任されるようになりました。

仕事についたきっかけ

父が花屋をやっていた影響も大きいです。一度は別の仕事に就きましたが、昔から手伝いで花に触れていたこともあって、最終的に花の仕事に戻りました。やっぱり花を扱うのが好きなんだと気づき、そこから本格的に勉強を始めました。



必須アイテムはコレ！

必須アイテムとしては、ハサミ、花を切るナイフ、ラッピング用のカッターです。



1日の流れ

06:00	市場で花の状態確認など
09:00	仕入れ開始（手ぜり）
11:00	各店舗へ花の配送
12:00	店舗で水やり
15:00	お客様へ花の配達など
17:00	帰宅



花屋の仕事で大切な能力

技術的な面もちろん重要ですが、やはり一番大切なのは「花が好き」という気持ちだと思います。その情熱があれば、どんな技術も自然と身についていくのではないのでしょうか。



体力は必要か

仕入れがあるので朝が早いのと、お盆や正月など、みんなが休んでいる時に働かなければならないのが少し大変です。特に、お盆や正月には大量の花が入ってくるので、重い箱を持つため体力が必要です。

中高生に伝えたいこと

花屋に限らず、どんな仕事でも真面目に取り組んでいれば、必ず良い結果が出ると思います。自分の好きなことに情熱を持って取り組んでください。

取材を終えて

花屋の仕事は、その魅力と同時に挑戦もありますが、愛情と情熱をもって取り組むことで素晴らしい成果を生み出すことができるとわかりました。この貴重な体験で花屋さんへの興味が深まりました。ありがとうございました。



プロフィール

- ・新潟農業大学校卒業
- ・出身地 新潟県
- ・2010年開業

仕事についたきっかけ

私の家はずっとお米を作っている農家だったので、自然と将来は農業に携わるつもりでした。そこで、農業高校に進学し、米作りだけでなく、果物の栽培についても学びました。特に印象的だったのは、授業の一環で自分たちが育てた果物を実際に販売する機会です。お客様から「美味しかった」という言葉をいただいた時、自分の作ったものが誰かの喜びに繋がることを実感しました。この経験が、果物栽培に対する強い興味を持つきっかけとなり、農業を本格的に始める決意を固めました。

必須アイテムはコレ！ 右写真参照

- ・はさみ・・・果物の収穫や剪定に使用します。
 - ・スピードプレイヤー・・・農薬や肥料を均等に散布するための機械です。
- これらの道具は、効率的な作業と高品質な果物の生産に欠かせません。



切れ味抜群！



スピードプレイヤー

仕事についてよかったと思う瞬間

高校時代に自分たちが作った果物に対して「美味しかった」と言われたことが、農業への興味を深める最初のきっかけでした。現在でも、お客様から「美味しかった」との言葉をいただくと、心から嬉しく感じます。この瞬間が、日々の努力や苦労が報われたと実感できる大きな喜びであり、農業を続けるモチベーションになっています。お客様の笑顔や満足の声が、仕事のやりがいを強く感じさせてくれます。

1日の流れ

05:00	収穫 取材時はプラムの収穫
07:00	出荷調整 パックや箱に詰めます
10:00	配達、直売所、宅配
12:00 13:30	休憩
13:30	畑の作業をします
22:00	就寝前に子どもと遊べます



シャインマスカット



世界一のプラム



広大なブドウ畑

仕事の中で印象に残っている出来事

プラムの重さで世界記録を達成したことが、特に印象に残っています。2021年にギネス記録として認定され、その記録は今でも破られていません。この達成感は計り知れなく、自分の農業に対する誇りを一層深めることができました。また、周りの人たちからも祝福の言葉をいただき、家族や仲間と喜びを分かち合えたことが何より嬉しかったです。この経験は、自分の努力が世界に認められた証であり、これからの農業に対する情熱をさらに強める原動力となっています。

人生の転機は？

高校時代に進学先について悩んでいた時、農業大学校への進学を勧めてくれた先生のアドバイスが、私にとって大きな転機となりました。その助言によって、農業という道に進む決断をし、今の農業に対する深い情熱を持つことができました。先生の的確なアドバイスがなければ、今の自分はなかったと思います。この経験が、自分の人生に大きな影響を与え、農業への熱意を育む大きなきっかけとなりました。

取材を終えて

取材を始める前は不安と緊張がありましたが、富山さんがとても優しく、リラックスして話すことができました。特に印象的だったのは、ぶどうやプラムが非常に大きく、それらの品質も高いということです。また、ここでは地植えではなく、不織布土の鉢で栽培していることを初めて知り、今まで見たことのない農法にとっても驚きました。農業についての話を詳しく聞くことで、農業の奥深さや日々の努力を理解し、興味を持つことができました。この貴重な体験を通じて、農業への新たな視点を得ることができてとても有意義な時間でした。

この仕事をする上で大切な能力

コミュニケーション能力です。自分の商品を販売する際には、商品の魅力や特長をしっかりと伝える必要があります。お客様に商品の良さを理解してもらうためには、効果的な話し方や相手の反応を読み取る力が求められます。また、営業力も重要で、商品の魅力を分かりやすく伝え、購買意欲を引き出すスキルが必要です。良いコミュニケーションが、信頼関係を築き、販売成功に繋がります。

中高生に伝えたいこと

一つのことを深く突き詰めることが非常に大切です。興味を持ったことに対して真剣に取り組み、それを深く掘り下げることで、それが将来の大きな武器となります。何でもできる必要はなく、まずは自分が本当に好きなことや興味がある分野に専念することが大切です。その熱意と専門性が、自然と自分の道を切り開き、成長の機会を広げてくれるでしょう。好きなことに全力で取り組むことで、自分だけの強みを作り上げてください。



プロフィール

- ・大学で社会福祉士と歯科衛生士の資格を取得
- ・マイブームはジムでの筋トレ
- ・休日は動画視聴やドライブ！



仕事についたきっかけ

大学で社会福祉士と歯科衛生士の資格を取れる学科に在籍していたことがきっかけです。その両方のスキルを生かせる職場を探していたところ、新潟市社会福祉協議会にめぐりあいました。そこで、いまのデイサービスに配属され、勤務しています。

仕事のやりがいはココ！

利用者の方から「ありがとう」と言われたり、名前を覚えて呼ばれたりする時は、本当に嬉しいです。特に認知症の方が私の名前を覚えていてくれると、とても感動しますね。

必須アイテムはコレ！

特に「必須アイテム」というものはありませんが、しいて言えば、介護に関する知識やコミュニケーション能力が重要だと感じます。また、利用者の方々が、ある行動や言動をとるに至った理由を想像する力もかなり重要ですね。あとは、健康な身体と心をちゃんと維持する事も大切ですね。



利用者のケアで重要なポイント

高齢者の皮膚は非常に弱く、ちょっとした刺激などですぐに切れてしまうことがあります。例えば、日常的な動作や軽い接触でも皮膚にダメージを与えることがあるのです。そのため、日々のケアにおいては、皮膚の保護を優先的に考える必要があります。

また、高齢者は転倒しやすく歩行時の不安定さも見逃せません。歩き方が不安定な方も多くそのままでは転倒のリスクが高まります。転倒は骨折などといった大きな怪我につながる可能性が高いため、歩行のサポートや安全な環境作りが不可欠です。

1日の流れ

06:30	起床
07:00	出勤
08:30	業務開始
17:15	業務終了
20:00	自由時間
24:00	就寝



仕事を通じて学んだこと

介護に関する全般的な知識と、コミュニケーションにおけるさまざまなアプローチ方法を学びました。介護技術については、ゼロからのスタートだったため、実際に利用者の方と関わる中で安全な手順を身に付けていきました。他にも、まだまだ学ぶことはたくさんあると感じています。



人生の転機は？

県外の大学に合格して、1人暮らしをしなければならない環境に変わったところかなと思いますね。それほど大きな転機でもないですが、生活環境が変わったという点では自分の中では大きな変化でしたね。

中高生に伝えたいこと

いろいろなことを経験し知識を広げる事が大切です。人間性を育てるためにも沢山の事を学び実際に経験してほしいと思います。

取材を終えて

私は介護士を目指しており、今回のインタビューを通じて、実際に働く方に直接お会いして見学やインタビューをさせていただくことができ良い経験ができました。見学では、利用者の方々が楽しそうに過ごされていて施設の空気感がとても分かりやすかったです。このような貴重な機会を下さりありがとうございました。今回のインタビューで得た事を将来の為に自分の為に活かしていきたいです。



プロフィール

- ・ 職種：小売業
- ・ 経験年数：16年
- ・ 趣味：釣り

仕事についたきっかけ

仕事を選んだきっかけは、家族の影響です。祖父の代から続く電気店で育ったため、私も自然にその道を継ぐものだと考えていました。特に他の職業を選ぶことは考えず、家業をそのまま引き継ぐ形で現在の仕事を始めました。

仕事のやりがいはココ！

仕事のやりがいは、お客様からの信頼と感謝の言葉をいただく瞬間にあります。お客様が私たちのサポートで問題を解決し、安心していただけると、非常に嬉しく感じます。また、仕事を通じて自然に家電製品や電気関連の知識が身につく、その知識を家庭内での急なトラブル対応に役立てることができる点も、やりがいの一つです。これにより、仕事だけでなく日常生活でもスムーズに問題解決ができるようになりました。

必須アイテム3点！

- ・ ドリルドライバー：配線作業や取り付け作業を行う際に木材や壁に穴を開けるためのツールです。正確な穴あけができるため、配線や取り付けの下準備に欠かせません。
- ・ インパクトドライバー：ネジの締め付けや取り外しに使用する電動工具です。特に強力なトルクでネジを素早く締めることができるため、大きな作業や頻繁な作業に便利です。
- ・ 圧着ペンチ：電線の端に端子を圧着して接続するための工具です。電気配線の際に正確かつ安全な接続を行うために必要で、配線作業の品質を保つために重要です。



1日の流れ

07:30	起床
08:30	出社、仕事
12:00	昼食
13:00	仕事
19:30	帰宅
20:00	夕食

印象に残っている仕事

一昨年、某駅前で40本の木にイルミネーションを1週間以内に設置したことです。12月5日までに完了しなければならず、非常に大変でした。また、急遽エアコンが故障し、その日のうちに修理や取り換えを行ったこともあります。お客様から感謝の言葉をいただき、これらの経験が特に印象深く残っています。

仕事を通じて学んだこと

仕事を通じて学んだことは、家電製品に関する知識や販売スキルの向上です。製品の機能を理解し、お客様に的確なアドバイスを提供できるようになりました。また、接客方法では、初対面の方とも天気や最近の出来事など身近な話題でスムーズに会話を進める技術を身につけ、信頼関係を築く力も養われました。これらを通じて、より良いサービス提供が可能になったと感じています。

取材を終えて

取材前は、樋浦さんの仕事がどのようなものか具体的には理解していませんでした。特に、家電製品の修理や販売、顧客対応の重要性については、具体的なイメージが持てませんでした。しかし、取材を通じて、ドリルドライバーやインパクトドライバーなどの必須アイテムがどのように使われるのか、また、家電に関する深い知識と迅速な対応が日々の業務でどれほど重要かを実感しました。お客様へのおもてなしの心がどれほど大切か、また、コミュニケーション能力が仕事にどのように役立つのかも理解しました。この経験をもとに、自分自身の進路を考える際に、仕事の内容や必要なスキルについて具体的に考え、自分の目標に向かって努力していきたいと思っています。



人生の転機は？

人生の転機としては、結婚し、子どもが生まれたことが大きな出来事です。親としての責任感が新たに生まれ、人生観が大きく変わりました。また、商工会の青年部や青年会議所といった地域の活動に参加し、さまざまな人々と出会った経験も大きな転機でした。これらの活動を通じて、多くの刺激を受け、視野が広がったことで自分の成長を感じることができました。どちらも人生を大きく変える重要な出来事だったと実感しています。

中高生に伝えたいこと

経験を積むことの重要性を伝えたいです。私自身、家業を継いで現在の仕事に従事していますが、他の職種や業界での経験はほとんどありません。高校生の皆さんには、さまざまな分野に挑戦し、いろいろな経験を積むことをお勧めします。異なる仕事や業界を体験することで、自分の興味や適性を見つける助けになると思いますし、将来の選択肢が広がるでしょう。皆さん、がんばってください！



プロフィール

- ・栃木県出身
- ・3才児と妻と3人暮らし
- ・南区月潟に在住
- ・乗り物に関する事が好き

仕事内容

幅広い業務を手掛けている。最近では観光系の仕事が多い。観光ガイドとしてバスツアーに同行したり、新潟市南区の観光情報をSNSで発信したりしている。他にも、電車の修理やイベントの企画、グッズ作成などを行っている。これらの活動は全国の人々に求められるようになってきて、今では保存活動の支援や、缶バッジの制作、イベントの企画も行っている。



仕事についたきっかけ

もともと工場の機械設計で図面を書いていたが残業が多く、妻も働いていたため、家庭と仕事の両立を図るために前の仕事をやめた。時間に融通の利く自営業をしたいと思い、元々活動していたボランティアをそのまま仕事にできないかと考えて起業した。

仕事のやりがいはココ！

自分が『好きだな』『良いな』と思ったことがお客さんに伝わった時。お客さんの喜ぶ姿が見れること。そしてそれがお金になるとき。お客さんからの評価が形として可視化されるから。そして、みんな幸せになるから。

1日の流れ

08:00	子どもを保育園へ
10:00	業務開始
13:00	お昼休憩
17:00	子供の迎え+食事の準備など
21:00	子供を寝かせる



仕事を通じて学んだこと

1人でやっている様に見える仕事も、みんなで作っているということ。仕事で人をお願いをする時にどうお願いしたら動いてくれるか、ということがわかるようになったこと。

学生時代の経験で生きているところ

色々なイベントの企画をしたり、人の前に立って指示やお願いをして、みんなになにかをやるという経験をしたこと。大学で、専門以外の幅広いことを勉強したこと。

取材を終えて

他には無い仕事を取材出来て、初めて知ることもたくさんあり、とてもいい経験になりました。特に、仕事のやりがいのお話は、とても納得できる内容だったので、仕事を考える上でとても参考になりました。そして、起業をするときのお話も、今後の役に立ついい話を聞けました。

仕事をして大変なこと

家庭との両立
(家事や子供との時間など)

起業して良かったこと

自分の好きな仕事ができること





プロフィール

- 中学生時代は野球部
- 仕事の経験年数は21年

仕事についたきっかけ

私の仕事は父親の代から続く家業を継いだ形です。私自身、細かい作業が好きだったので、この道に進むことにしました。

仕事を通じて学んだこと

ものを作る楽しさですね。お客様に喜んでいただける製品を作ることに、日々やりがいを感じています。



仕事をされる上で大切な能力は

ものづくりにおいてはスピードよりも正確さが重要。不良品を出さないことが何よりも大切だと思います。

仕事について良かったと思う瞬間

製造業なので、いいものを作ってお客さんに渡した時にお客さんが喜んでいただいたときに喜びを感じます。

印象に残っている出来事

仕事を通じて新しいお客様と出会い、新しい商品を作る機会を得られたことが印象的です。新しい分野に挑戦できるのが、この仕事の魅力の一つですね。

必須アイテムはコレ！

製造機械です。この機械を使って不良品を出さない製品づくりを大切にしています。



1日の流れ

06:00	起床 準備
07:00	出勤
17:00	退勤
19:00	帰宅・夕食準備
20:00	自由時間
23:00	就寝



この地域で働く良さは？

この地域には同業者が近くに何軒もあり、忙しい時には助け合ったり、仕事を紹介し合ったりしています。地域のつながりが強いことが、この地域で働く良さだと感じています。

学生時代の経験で生きてる部分

学生時代は野球をやっていて、そこでの厳しい経験が仕事で役立っています。困難な状況でも耐え抜く精神が養われたと思います。

仕事の中で大変だと思うこと

特に大変だと思うことはないですね。自分が好きでやっている仕事なので、大変さを感じることはほとんどありません。

中高生に伝えたいこと

社会に出ると厳しいことが待っていますが、投げ出さずに頑張ってください。困難に直面しても諦めずに挑戦してほしいですね。



取材を終えて

星野スポット様の仕事場を少し見学させて頂いて、皆さん真剣に仕事に取り組んでいて、星野さんが仰った通り、現場で働いている方達もつらいことを乗り越えて、何事にも投げ出さずに頑張っているんだなと感じました。



プロフィール

- 24年目の運転士
- 運転業務が主な仕事

仕事についたきっかけ

高校卒業後、すぐに就職するよりも、まずは専門学校に進むことにしました。当時は旅行に特化した専門学校に進むことを選びました。東京で2年間過ごし、その後地元に戻り、自然な流れで旅行会社に就職しました。その際、添乗員としてバスツアーに同行することが多かったのですが、そこで運転士の仕事に興味を持ち、その旅行会社がバス会社と合併することになり、バスの運転士として働く機会が訪れました。

この仕事で良かったと思う瞬間

バスの運転士をしていて良かったと思うのは、人に対して優しくなれたことです。車の運転だけでなく、他人の気持ちを考えながら行動するようになりました。長時間、お客様と一緒にいることで、その人がどんな人なのかを考えながら接するようになり、思いやりを持って仕事をするこの大切さを実感しました。

必須アイテム

眼鏡です。視力は免許に問題ないレベルですが、安全のためにバスに乗る時は必ず眼鏡をかけるようにしています。

印象に残っている出来事

大雪で関東の道路がすべて止まってしまった時があり、その時、伊豆からの帰り道で、どうしても予定通りに帰れない状況に直面しました。お客様の予定を考慮しつつ、名古屋を経由して遠回りして帰ることにしました。通常なら4時間ほどで帰れるところを、14時間以上かけてなんとか新潟に戻ったことが印象に残っています。



ある1日の流れ

出社・退社は運行により異なります。

- 05:00 起床
- 08:00 出社
- 17:00 退社
- 22:00 就寝



仕事を通じて学んだこと

人の気持ちを察することの大切さです。特に初めてのお客様に対しては、探りながら対応することが求められます。運転技術だけでなく、相手の気持ちに寄り添った対応が必要です。

地域との関わりを感じる場面

冬場に特に感じます。南区の白根北中や白南中といったスクールバスでの仕事が多く、地域の人々とのつながりを大切にしています。



仕事をする上で大切な能力

この仕事では、コミュニケーション能力が非常に重要です。もちろん運転技術も大切ですが、観光バスの運転士としては、お客様との長い時間をうまく過ごすために、相手の気持ちを察し、希望に沿った対応をすることが求められます。難しい要求に対しても、角が立たないように説明し、納得してもらうためのコミュニケーション能力が必要です。



取材を終えて

バスに乗ることはあっても運転士さんとじっくり話すことは今までなかったので良い経験になりました。インタビューをとおして、自分の新たな可能性を見つけれた気がして、将来仕事に就くならバス会社も悪くないなと思いました。ドライバー不足の今、自分がドライバーになって、少しでも解消できればと考えています。



プロフィール

- 工業高校卒業
- 18年目
- 趣味バイク



仕事についたきっかけ

元々はバイク屋になりたかった。でも、中学3年生の時に気づいた、バイクって冬場は乗れないし、台数も少ない。これで飯を食べていけるのかと考えた時に、車の整備に行き着いた。



仕事のやりがいはココ！

基本的には良いことしかない！。自分の趣味を仕事にしているので、楽しいことばかりです。具体的には、車を修理している時に楽しさを感じます。例えば、マフラーに穴が開いていたり、外れたりした時に、それを修理するのは大変ですが、その分やりがいもあります。

仕事の内容

自動車整備全般を担当しています。販売、修理や保険の取り扱いもして幅広く手がけています。

必須アイテム

必須アイテムは工具です。車を触る際には絶対に必要なもので、基本的な工具のセットは市販されているものがあり、そのセットには40点から50点ぐらいの工具が含まれていてこれがないと、最低限の仕事もできないです。ただし、車によってはそれに合わせた専用の工具が必要になることもあります。どの車でも「これがあれば大丈夫」というものはなく、最悪の場合、自分で工具を作ることもあります。



1日の流れ

07:30	出社
08:00	車検準備・車検
11:00	整備
19:00	翌日の車検準備
20:00	YOUTUBE・情報収集
	就寝



印象に残っている出来事

安い車を買ったお客さんが、実はその車がひどい状態だったということがありました。例えば、フレームが腐っていたり、エンジンがかからなかったりする車があった。そのような車を修理するのは大変ですが、やりがいも感じます。



必要な能力は？

コミュニケーション能力！。この仕事に限らず、すべての仕事において重要だと思います。お客様や取引先とのコミュニケーションがしっかり取れていないと、問題解決が難しくなります。

中高生に伝えたいこと

「感に頼るな。勘を信じろ」という言葉です。同じ読み「かん」ですが、意味が違います。最初の「感に頼るな」は直感や思いつきに頼らないこと、そして「勘を信じろ」は、自分の経験から得た感覚を信じることを意味しています。

取材を終えて

取材通して車を整備するには、二級整備士以上の資格などの国家資格を取らないと仕事ができないことがわかった。その他にも自分が取れそうな資格があれば今後の活動において良い事があることもわかった。そして仕事というものはただこなすだけではなく相手とのコミュニケーションや仕事を貰っているということ意識してすることがわかった。